【担当監督員】 【主任監督員】 考查項目 細 d е 1 施工体制 I 施工体制一般 ほぼ適切である 他の評価に該当しない やや不適切である 適切である 不適切である ●評価対象項目 施工体制一般に関して、監督 施工体制一般に関して、監督 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項がない。 職員が文書による改善指示を 職員からの文書による改善指 施工計画書を,工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出している。 行った。 示に従わなかった。 作業分担の範囲を,施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る 体制が有効に機能している。 元請が下請の作業成果を検査している。 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 緊急指示,災害,事故等が発生した場合の対応が速やかである。 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 □ 機械設備, 電気設備等について, 製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等) を整えている。 ■ 電気設備等について、設備更新時の新旧設備の切り替え作業における予期できない事象等に 対応できる体制を整えている。 その他[理由: ●判断基準 評価値が90%以上 ·······a 評価値が80%以上90%未満・・・・・b 評価値が80%未満 ・・・・・・・・・c ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお,削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目	細 別	a	b	С	d	е	
1 施工体制	Ⅱ 配置技術者	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
	(現場代理人等)	●評価対象項目		配置技術者に関して,監督職	配置技術者に関して,監督職.		
		【全体を評価する項目】		員が文書による改善指示を行	員からの文書による改善指示 .		
		◯ 「施工プロセス」のチェックリストの	った。	に従わなかった。			
	I	― 作業に必要な作業主任者及び					
		【現場代理人を評価する項目】					
		現場代理人が,工事全体を把握	している。				
		■ 設計図書と現場との相違があっ	た場合は,監督職員と協議するなど <i>0</i>	り必要な対応を行っている。			
		■ 監督職員への報告・連絡を適時	及び的確に行っている。				
		【監理(主任)技術者を評価する項	[目]				
		※特例監理技術者の指導により、	監理技術者補佐が適正に実施した場				
		■ 事前協議を踏まえ,共通仕様書	及び諸基準に基づき,工事書類の簡				
		工事書類を適切に作成し,提出	又は提示している。				
		型 契約書,設計図書,適用すべき	諸基準等を理解し,施工に反映してい	いる。			
		施工上の課題となる条件(作業)	環境, 気象, 地質等) への対応を図っ	ている。			
			を把握し,技術的な指導を行っている				
		監理(主任)技術者が,明確な相	長拠に基づいて技術的な判断を行って	ている。			
		その他〔理由:		)			
		② 削除項目のある場合は, 削 ③ 評価値( %)=該当	・・・・・b ・・・・・c  ち,対象としない項目は削除する。 削除後の評価項目数を母数として計算	数( )			

考查項目	細 別	а	b	С	d	е
2 施工状況	I 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		●評価対象項目		施工管理に関して,監督職員	施工管理に関して,監督職員	
		□ 「施工プロセス」のチェックリストの	のうち, 施工管理について指示事項が	が文書による改善指示を行っ	からの文書による改善指示に	
		□ 施工計画書が, 設計図書及び理	見場条件を反映したものとなっている。	た。	従わなかった。	
		□ 現場条件の変化に対して, 適切	に対応している。			
		□ 工事材料の品質に影響がない』	こう保管している。			
		□ 日常の出来形管理を, 設計図書	・及び施工計画書に基づき適時及び	的確に行っている。		
		□ 日常の品質管理を,設計図書及	び施工計画書に基づき適時及び的	確に行っている。		
		□ 現場内の整理整頓を日常的に行	うっている。			
		□ 指定材料の品質証明書及び写	真等を整理している。			
		□ 工事打合せ簿を, 事前協議に基	でき,過不足なく整理している。			
		□ 建設副産物の再利用等への取り	0組みを適切に行っている。			
		□ 工事全般において, 低騒音型,	低振動型, 排出ガス対策型の建設機	械及び車両を使用している。		
		□ 電気設備等について,設備更新	行時の新旧設備の切り替え作業(作業	手順や確認方法等)を適切に		
		行っている。				
		◯ その他〔理由:				
		●判断基準				
		評価値が90%以上 ・・・・・・・	•••••a			
		評価値が80%以上90%未満	••••b			
		評価値が80%未満 ・・・・・・・	•••••c			
		① 当該「評価対象項目」のうる	ち,対象としない項目は削除する。			
		② 削除項目のある場合は, 肖	川除後の評価項目数を母数として計算	なした比率(%)の値で評価する。		
		③ 評価値( %)=該当	当項目数( )/評価対象項目数	数( )		
		④ なお,削除後の評価対象	頁目数が2項目以下の場合はc評価と	する。		

考査項目	細 別	а	b	С	d	e
2 施工状況	Ⅱ 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		●評価対象項目			工程管理に関して,監督職員	工程管理に関して,監督職員
		◯ 「施工プロセス」のチェックリストの	Dうち, 工程管理について指示事項か	が文書による改善指示を行っ	からの文書による改善指示に	
		工程に与える要因を的確に把握	し、それらを反映した計画工程表を何	た。	従わなかった。	
		■ 実施工程表の作成及びフォロー	アップを行っており, 適切に工程を管			
		□ 現場条件の変化への対応が迅減	速であり,施工の停滞が見られない。			
		□ 時間制限や片側交互通行等の	各種制約への対応が適切であり、大き	さな工程の遅れがない。		
		□ 工事の進捗を早めるための取り	組みを行っている。			
		□ 適切な工程管理を行い,工程の	遅れがない。			
		□ 休日の確保を行っている。				
		計画工程以外の時間外作業が必要	まとんどない。			
		□ その他〔理由:		)		
		●判断基準				
		評価値が90%以上・・・・・・・	••••a			
		評価値が80%以上90%未満	•••••			
		評価値が80%未満 ・・・・・・・	••••c			
		① 当該「評価対象項目」のう	ち,対象としない項目は削除する。			
		② 削除項目のある場合は, 肖	川除後の評価項目数を母数として計算	した比率(%)の値で評価する。		
		③ 評価値( %)=該当	á項目数( )/評価対象項目数	数( )		
		<ul><li>④ なお,削除後の評価対象</li></ul>	項目数が2項目以下の場合はc評価と	:する。 -		
		Entranomination management managem				

考 査 項 目	細 別	а	b	С	d	е
2 施工状況	Ⅲ 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		適切である ●評価対象項目 「施工プロセス」のチェックリストの 災害防止協議会等を1回/月以 安全教育及び安全訓練等を半  新規入場者教育の内容に,当診 工事期間を通じて,労働災害及 過積載防止に取り組んでいる。 仮設工の点検及び管理を,チェ 保安施設の設置及び管理を,チェ 保安施設の設置及び管理を,各 地下埋設物及び架空線等に関 その他〔理由:	ほぼ適切である  つうち、安全対策について指示事項が は上行っている。 ヨノ月以上実施している。 区工事の現場特性を反映している。 び公衆災害が発生しなかった。 ックリスト等を用いて実施している。 種基準及び関係者間の協議に基づする事故防止対策に取り組んでいる。	他の評価に該当しない がない。 き実施している。		
		評価値が80%以上90%未満 評価値が80%未満・・・・・・ ① 当該「評価対象項目」のうう ② 削除項目のある場合は,肖 ③ 評価値(%)=該当	·····b ·····c 5, 対象としない項目は削除する。 ll除後の評価項目数を母数として計算	数( )		

考查項目	細	別	а	b	С	d	е
3 出来形及び	全	般	□ 出来形の測定が, 必要な測定	□ 出来形の測定が,必要な測定	出来形の測定が,必要な測定	□ 出来形の測定方法又は測定値	型約書第19条に基づき,監督
出来ばえ			項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	項目について所定の測定基準	が不適切であったため, 監督職	職員が改造請求を行った。
			に基づき行われており, 測定値		に基づき行われており, 測定値	員が文書で改善指示を行った。	
I出来形			が規格値を満足し, そのばらつ		が規格値を満足し, a, bに該当		
			きが規格値の概ね50%以内で	きが規格値の概ね80%以内で	しない。		
			ある。	ある。			
			※ ばらつきの判断は別紙ー4参	照			
				般を通じて評定するものとする。 Fされた工事目的物の形状及び寸法	ナルンジ		
				事施工管理基準」の測定項目, 測定			
			<b>■</b>	季旭工官柱室平] の例足項目, 例だ 系であるが, 当該管理基準によりがた	<b>■</b>		
			と協議の上で出来形管理		V 加口守に 2V Cta, 血自似只		
				ていない工事は「c」評価とする。			
			**************************************	1980-1980-1980-1980-1980-1980-1980-1980-			

【相当監督昌】 【主任監督昌】

* * * * .	ff.	i	· 与且·侯自沙·与且·侯自州包	1		
考查項目	工種	a	b	C	d	e e
	機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形の測定方法又は測定値	
出来ばえ		●評価対象項目			が不適切であったため,監督職	職員が改造請求を行った。
	※上記欄に		来形管理図及び出来形管理表により	員が文書で改善指示を行った。		
I出来形	よらず、当該欄		法の実測値が許容範囲内である。			
	で評価	施工管理基準の撮影記録が撮影				
			来形管理項目について, 監督職員と			
			<b>影している。(監督職員等が臨場した</b> (	箇所は除く)		
		<ul><li> 塗装管理基準の塗膜厚管理を通</li></ul>	<b>適切にまとめている。</b>			
		※ 溶接管理基準の出来形管理を通				
		社内の管理基準に基づき管理し	ている。			
		■ 設計図書に定められている予備	品に不足がない。			
		→ 分解整備における既設部品等  の	)摩耗,損傷等について,整備前と整	備後の劣化状況及び回復状況を		
		図表等に記録している。				
		その他〔理由:		]		
		●判断基準				
		評価値が90%以上・・・・・・・・	· · · · · a			
		評価値が80%以上90%未満	•••••b			
		評価値が80%未満 ・・・・・・・	•••••c			
		① 当該「評価対象項目」のうな	ら,対象としない項目は削除する。			
		② 削除項目のある場合は, 削	川除後の評価項目数を母数として計算	した比率(%)の値で評価する。		
		③ 評価値( %)=該当	á項目数( )/評価対象項目数	数( )		
		④ なお,削除後の評価対象5	頁目数が2項目以下の場合はc評価と	する。		

【扣以監督目】 【主任監督目】

		<b>エチ////////////////////////////////////</b>	グロスロックロスロかほ	=/113人	L L	但目監官貝】 【土工監官貝】
考查項目	工種	a	b	С	d	e
3 出来形及び	電気設備工事・	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	■ 出来形の測定方法又は測定値	契約書第19条に基づき, 監督
出来ばえ	通信設備工事:	●評価対象項目		が不適切であったため, 監督職	職員が改造請求を行った。	
	受変電設備工事	□ 据付に関する出来形管理が,出	来形管理図及び出来形管理表により	員が文書で改善指示を行った。		
I出来形		機器等の測定(試験)結果が, そ	の都度管理図表などに記録され, 適	[切に管理している。		
	※上記欄に		<b>影している。(監督職員等が臨場した)</b>			
	よらず,当該欄		来形管理項目について, 監督職員と	協議の上で管理している。		
	で評価	<b>=</b>	法の実測値が許容範囲内である。			
			計図書又は承諾図書通り施工している	5.		
		配管及び配線が、設計図書又は				
		測定機器のキャリブレーションを	, , = , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
		<b>=</b>	ブルなどに分かり易く堅固に取り付け			
				を満足していることが確認できる。		
		□ 社内の管理基準に基づき管理し □ 記引図書に立りるとでいる。				
		□ 設計図書に定められている予備 □ 京温郊祭の会際保証・の二季	•	エピーナ担告』 もかくも知られ		
			表示、二重防護など運用における不可	可抗力を想定した女生対東が		
		なされている。 □ その他〔理由:		١		
		●判断基準				
		評価値が90%以上・・・・・・・	•••••			
		評価値が80%以上90%未満				1
		評価値が80%未満・・・・・・・				
		HT BALLESTO GG 707 FERRING	<u> </u>			
		① 当該「評価対象項目」のう	5,対象としない項目は削除する。			
		<b>I</b> ■	川除後の評価項目数を母数として計算	した比率(%)の値で評価する。		
		③ 評価値( %)=該当	á項目数( )/評価対象項目数	女( )		
		④ なお,削除後の評価対象項	頁目数が2項目以下の場合はc評価と	:する。		
		***************************************				1
						1
						1
						1
						1
Ĭ	ĺ					1

#### 丁東は緯坂占の老本頂日の老本頂日別海田書

【扣以監督目】 【主任監督目】

			エザルがはかかい	/为且仅日少为且仅日则进	5/11 <b>4</b> X	L L	但目監官貝】 【土江監官貝】
考查項目	細	別	a	b	С	d	е
3 出来形及び	全	般	□ 品質の測定が, 必要な測定項	品質の測定が,必要な測定項	□ 品質の測定が, 必要な測定項	品質関係の測定方法又は測定	型約書第19条に基づき,監督
出来ばえ			目について所定の測定基準に	目について所定の測定基準に	目について所定の測定基準に	値が不適切であったため, 監督	職員が改造請求を行った。
			基づき行われており, 測定値が	基づき行われており, 測定値が	基づき行われており, 測定値が	職員が文書で改善指示を行っ	
Ⅱ 品質			規格値を満足し, そのばらつき	規格値を満足し, そのばらつき	規格値を満足し, a, bに該当し	た。	
			が規格値の概ね50%以内であ	が規格値の概ね80%以内であ	ない。		
			る。	る。			
			※ ばらつきの判断は別紙ー4参	照			
			※ ばらつきの判断は別紙-4参 ① 品質の評定は,工事全般を ② 品質とは,設計図書に示さ ③ 品質管理とは,「土木工事	照 と通じて評定するものとする。 れた工事目的物の規格である。 施工管理基準」の試験項目,試験基 )管理体系である。なお,当該管理基 質管理を行うものである。			

考 査 項 目	工種	а	b	С	d	e
3 出来形及び	機械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定	型約書第19条に基づき,監督
出来ばえ		●評価対象項目		値が不適切であったため, 監督	職員が改造請求を行った。	
	※上記欄に	□ 材料, 部品の品質照合の書類(	現物照合)の内容が設計図書の仕様	職員が文書で改善指示を行っ		
Ⅱ 品質	よらず、当該欄	設備の機能及び性能を,承諾図	書のとおり確保している。		た。	
	で評価	□ 設計図書の仕様を踏まえた詳維	田設計を行い,承諾図書として提出し <sup>*</sup>	ている。		
		□ 機器の品質,機能及び性能が記	受計図書を満足して,成績書にまとめ	られている。		
		□ 溶接管理基準の品質管理項目	について規格値を満足している。			
		□ 塗装管理基準の品質管理項目	について規格値を満足している。			
		□ 操作制御設備について,操作ス	イッチや表示灯を承諾図書のとおり間	配置し,正常に作動することが確認		
		できる。				
		□ 操作制御設備の安全装置及び	保護装置が承諾図書のとおり機能して	ている。		
		□ 小配管, 電気配線・配管が, 承割	塔図書のとおり敷設している。			
		□ 設備の取扱説明書を適切に作品	戏している。			
		□ 完成図書(取扱説明書)に定期	的な点検及び交換を必要とする部品	並びに箇所を明示している。		
		機器の配置が点検しやすくして	いる。	•		
		設備の構造や機器の配置につい	って, 部品等の交換作業が容易にで	きる。		
		□ 二次コンクリートの配合試験及び	ド試験練りが実施され, 試験成績表に	こまとめられている。		
		□ バルブ類の平時の状態を示すう	ラベルなどが見やすい状態で表示して	こいる。		
		計器類に運転時の適用範囲を	見やすく表示している。			
		回転部や高温部等の危険箇所	に表示又は防護をしている。			
		構造物の劣化状況をよく把握し	て、適切な対策を施していることが確	認できる。		
		現地状況を勘案し施工方法等に	こついて提案を行うなど,積極的に取	り組んでいる。		
		□ その他[理由:	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	]		
		●判断基準				
		評価値が90%以上・・・・・・・	••••a			
		評価値が80%以上90%未満	••••b			
		評価値が80%未満・・・・・・・				
		① 当該「評価対象項目」のう	ち,対象としない項目は削除する。			
			川除後の評価項目数を母数として計算	<b>1</b> た比率(%)の値で評価する。		
		(3) 評価値( %)=該		·		
		0 111 111 111 111 111 111 111 111 111 1	項目数が2項目以下の場合はc評価と			

		上 尹 // / / / / / / / / / / / / / / / / /	为且很自己为且很自则是	E/11公	<u> </u>	但目監官員】 【土仁監官員】
考查項目	工種	a	b	С	d	е
3 出来形及び	電気設備工事・	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定	型約書第19条に基づき,監督
出来ばえ	通信設備工事・	●評価対象項目			値が不適切であったため, 監督	職員が改造請求を行った。
	受変電設備工事		産保に係る技術検討を実施している。	職員が文書で改善指示を行っ		
Ⅱ 品質			、品質保証書等(現物照合を含む) <sup>、</sup>	た。		
	満足していることが確認できる。 ※上記欄に 機器の品質,機能及び性能が,設計図書を満足し,成績書にまとめている。					
	※上記欄に					
	よらず、当該欄		書のとおり配置され,正常に作動する			
	で評価		作業が施工計画書に記載された手順	, , , ,		
			書の仕様を満足していることが確認で			
			が,仕様を満足していることが確認で	さるとともに、必要な女主装直及い		
		保護装置の作動が確認できる。	)仕様を満足していることが確認できる	Z		
			が上様を個定していることが確認できる )機能及び性能が確認できない場合し	- 0		
		いる。	が	こわいて、上場試験などで推診して		
			書を適切に作成(修繕(改造・更新含え	ta)の堪会は 修正▽は更新)] て		
		いる。				
			ぬを要する部品及び簡所を明示してい	NA.		
		<b>=</b> 70,740 11 170,771.17 0.711.17 1.711	(耗品の取替え作業が容易にできる。)	20		
		障害,災害発生を想定した代替	機能、迂回などのフェールセーフ機能	能を現地試験等で確認している。		
		設備の耐震設計について,受注	者自らが確認,精査したことが確認で	できる。		
		□ その他[理由:				
		●判断基準				
		評価値が90%以上・・・・・・・				
		評価値が80%以上90%未満				
		評価値が80%未満 ・・・・・・・	••••c			
			ち,対象としない項目は削除する。			
		0 11111 7111 11 2 11 11 11 11 11	除後の評価項目数を母数として計算			
			ら項目数( )/評価対象項目数 5日数は10万日以下の担合は、17万日	T 1 T 1		
		4 なお、削除後の評価対象	頁目数が2項目以下の場合はc評価と			

#### 

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表						担当監督員】	【主任監督員】	
考查項目	工種	a	b	С	d		е	
3 出来形及び	維持•修繕工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法又は測定	契約書第1	9条に基づき, 監督	
出来ばえ		●評価対象項目			値が不適切であったため, 監督	職員が改造	請求を行った。	
	※上記欄に	常に緊急的な作業に対応できる	体制を整えている。。		職員が文書で改善指示を行っ			
Ⅱ 品質	よらず、当該欄	緊急的な作業に対し、迅速に対	芯している。		た。			
	で評価	監督職員の指示事項に対し、現	地状況を勘案し,施工方法や構造に	こついて提案を行うなど,積極的に				
		取り組んでいる。						
		施工後のメンテナンスに対する携						
		□_理由:						
		□ 理由:						
		□_左用.						
		●判断基準						
		●刊刷基準 ※該当項目が6項目以上 ・・・・・・・a						
		※該当項目か6項目以上・・・・・・・a   ※該当項目が4項目以上・・・・・・・b						
		※該当項目が3項目以下・・・						
		次成当項目が3項目以下・・・						
		注 記載の4項目を必須の誣価な	対象項目とし,この他に適宜項目を追	a加] て評価するものとする				
		ただし、評価対象項目は最大						
		72720) HT IMM 337 X PT 100 X X	(0) X   C / 30					

【主任監督員

			工事风限环点以行且没有以行且没有加度用权	
考查項目	細	別	工 夫 事 項	
	I 創意工夫		【施工】	
0 1112 11/1	- 41/21/2/		施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫	
			□ コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫 □ コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
			上工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫	
			■ 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫	
			⇒ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫	
			──給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止,配管のつなぎ等に関する工夫	
			照明などの視界の確保に関する工夫	
			仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫	
			運搬車輌、施工機械等に関する工夫	
			支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫	
			盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫	
			施工計画書の作成,写真の管理等に関する工夫	
			出来形又は品質の計測,集計,管理図等に関する工夫	
			── 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫	
			ICT 活用工事加点として起工測量から電子納品までの何れかの段階でICT を活用した工事(電子納品のみは除く)	
			※本項目は1点の加点とする。	
			ICT 活用工事加点として起工測量から電子納品までの全ての段階でICT を活用した工事。	
			※本項目は2点の加点とする。	
			特殊な工法や材料を用いた工事   1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
			■ 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事	

別紙-1【14-2】

#### 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【主任監督員】

考查項目	細	別	工 夫 事 項											
5 創意工夫	I 創意工夫		【品質】											
				気の品質向上に関する工										
			<u> </u>	料, 打設, 養生に関する]										
				ブル,コンクリート二次製品	等の使用材料に関	する工夫								
				等に関する工夫										
			【安全衛生】	建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している										
				点の加点とする。		· +- #-   +- }- =	: L= ++ . 1 +m	₹ 1770 □ □ II						
				らための仮設備等に関する 5向上講習会,安全パトロ-			<b>ໄ</b> 极,	手摺り, 足場寺)						
				『同上講督会、女主ハトロー 『務者宿舎等の空間及び記										
				- 勝有相音等の空間及び影塵 - 可燃ガスの処理及び粉塵			ハナキ							
				- 可燃がパックを全次し物屋 寺の被害軽減方策又は一∮			工人							
				の改善に関する工夫 での改善に関する工夫	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-1,4 //-(								
			環境保全に関す											
			【電子納品】											
			任意試行中のコ	E事で電子納品が自主的!	こなされた。									
			_	1	•			•	•					
				区 分	電子納品なし	写真のみ	写真+書類	写真+書類+図面						
				正ラーなし エラーなし	0	1	2	4						
			L'	評点 エラーあり ※4	_	_	_	3						
			【その他】											
			その他〔理由:	みやこ杣木の看板を使用	した									
			その他〔理由:	ODグリーンシートを使用し	.t-	1								
			C VIE ( <u>A.H.</u>	000// 12/0///	770	_								
			- その他[理由:	情報共有システムを利用し	た	)								
			この他(理由・	遠隔臨場を実施した		1								
			ての他( <u></u> 理田:	逐門臨場を夫虺した										
			その他[理由:			)								
			その他〔理由:			J								
			その他[理由:			)								
	記述評価		<b>※</b> 2		<b>※</b> 5		【創意工夫の詳細	評価】工夫の内容及び具体的	り内容を記載					
	(レマークを付し		A 31 L	L-	合計点×2=									
	価内容を詳細語	記述)	合計点:	<u>点</u>	評定点:	<u>点</u>								

- ※1 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2 評価は各項目において1つレ点が付されれば1, 2, 3, 4点で評価し、合計点は最大7点の評価とする。
- ※3 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。
- ※4 「エラーあり」とは、発注者が、CAD製図基準(案)に準じた図面を受注者に提供できなかった場合に限る。この際、「エラーあり」の図面の提出を認めるものとする。(写真及び書類のエラー状態のままの提出は、原則認めない。)
- ※5 合計点に重み2倍をかけ評定点とする。(評定点は14点満点とする。)

【総括監督員】

* * T D /m	m IIII	1	<u> </u>		1								
考查項目 細		a	b	C	d	e							
2 施工状況 Ⅱ 工程	程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている							
	ļ	●評価対象項目 											
	Į.	☑ 隣接する他の工事などとの工程	調整に取り組み,遅れを発生させるこ	となく工事を完成させた。									
		地元及び関係機関との調整に取	■ 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。										
	[	工程管理を適切に行ったことによ	はり, 夜間工事の回避等を行い, 工事に	による地域への影響を軽減させた。									
	ļ	工程管理に係る積極的な取り組	みが見られた。										
	ĺ	─ 災害復旧工事など特に工期的な	は制約がある場合において, 余裕をもっ	って工事を完成させた。									
	工事施工箇所が広範囲に点在していてる場合において,工程管理を的確に行い,余裕をもって工事を完成させた。     設備更新等の工事において,機能停止期間の短縮など,工事による利用者への影響を軽減させた。												
	ľ	<ul><li>□ 改備失析寺の工事において、機</li><li>○ その他「理由:</li></ul>	コロロエルカロロマングではない。 上ずによる1	ロカロロニックが育る柱板ではた。									
1	<u> </u>	(ツ)國( <u>準田・</u>											
			at Next -	r.k. / >		I							
		※ 上記該当項目を総合的に判断して、 a、 b、 c、 d、 eの評価を行う。											
Ⅲ 安全	全対策	a	b	С	d	е							
	ļ	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている							
	ļ	●評価対象項目											
	ļ		方止に向けた取り組みが顕著であった	-		1							
	ľ		が出い同りた取り組。アパ頭省 (8)57に !体制を整備し、組織的に取り組んだ。	-0		I							
		=	:評削を登開し、組織的に取り組んだ。 模範となるような活動に積極的に取り			ı							
	 			<b>中ロ/</b> / / / C <sub>0</sub>		I							
		安全対策に関する技術開発や創     マール おぎるなるのご動に移     マール おきるなるのご動に移     マール おきるなるのご動に移     マール おきるなるのご動に移     マール おきるなるのご動に移     マール おきるなるのごもいである。     マール おきるなるのごもいである。     マール おきるなるのごもいである。     マール おきるなるのごもいである。     マール おきるなるのごもいである。     マール かまるなるのごもいである。     マール かまるなるなるのごもいである。     マール かまるなるのごもいである。     マール かまるなるのごもいである。     マール かまるなるのごもいである。     マール かまるなるのごもいである。     マール かまるなるのごもいである。     マール かまるなるのである。     マール かまるなるのである。     マール かまるなるのである。     マール かまるなるのである。     マール かまるなる。     マール かまるなるのである。     マール かまるなる。     マール かまるなるのである。     マール かまるななるのであるななる。     マール かまるななる。     マール かまるななるななる。     マール かまるななる。     マール かまるななる。     マール かまるななる。     マール かまるななる。     マール かまるななるななる。     マール かまるななる。     マール かまるななる。     マール かまるななる。     マール かまるなななる。     マール かまるななる。     マール かまるなななる。     マール かまるななななななる。     マール かまるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな				I							
	ļ	災害防止協議会等での活動に積				i							
	ļ	安全対策に係る取り組みが地域	から評価された。			I							
	ļ	その他[理由:											
		●判断基準				I							
		※ 上記該当項目を総合的に	判断して, a, b, c, d, eの評価	5を行う。		1							
						I							
						I							
						i							
				i									
						i							
						I							

【総括監督員】

考查項目	細 目	対 応 事 項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4 工事特性	I 施工条件等	I構造物の特殊性への対応	(1 について)
	への対応	□ 1 対象構造物の高さ,延長,施工(断)面積,施工深度等の規模が特殊な工事 □ 2 対象構造物の形状が複雑であることなどから,施工条件が特に変化する工事 □ 3 その他〔理由: □ ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。	切土の土工量:20万㎡以上,盛土の土工量:15万㎡以上,護岸・築堤の平均高さ:10m以上,トンネル(シールド)の直径:8m以上,ダム用水門の設計水深:25m以上,樋門又は樋管の内空断面積:15㎡以上,揚排水機場の吐出管径:2,000mm以上,堰又は水門の最大径間長:25m以上,堰又は水門の径間数:3径間以上,堰又は水門の扉体面積:50㎡/門以上,トンネル(開削工法)の開削深さ:20m以上,トンネル(NATM)の内空平均面積:100㎡以上,トンネル(沈埋工法)の内空平均面積:300㎡以上,堤防,護岸,突堤又は離岸堤の水深:10m以上,地滑り防止工:幅100m以上かつ法長150m以上,浚渫工の浚渫土量:100万㎡以上,流路工の計画高水流量:500㎡以上,砂防ダムの堤高:15m以上,ダムの堤高:150m以上,転流トンネルの流下能力:400㎡/s以上,橋梁下部工の高さ:30m以上,橋梁上部工の最大支間長:100m以上(2 について)・砂防工事などにおいて,現地合わせに基づいて再設計が必要な工事・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事・供用中の道路トンネルの拡幅工事(3 について)・その他,構造物固有の難しさへの対応が必要である工事・地山強度が低い又は土被りが薄いため,FEM解析などによる検討が必要な工事・地山強度が低い又は土被りが薄いため,FEM解析などによる検討が必要な工事・地山強度が低い又は土被りが薄いため,FEM解析などによる検討が必要な工事・地山強度が低い又は土被りが薄いため,FEM解析などによる検討が必要な工事
		<ul> <li>Ⅱ都市部等の作業環境,社会条件等への対応</li> <li>4 地盤の変形,近接構造物,地中埋設物への影響に配慮する工事</li> <li>5 周辺環境条件により,作業条件,工程等に大きな影響を受ける工事</li> <li>6 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</li> <li>7 現道上での交通規制に大きく影響する工事</li> <li>8 事故や災害発生直後等の緊急的な対応が必要な工事</li> <li>9 施工箇所が広範囲にわたる工事</li> <li>10 その他〔理由:</li> <li>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。</li> </ul>	(4 について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事 (5 について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事 ・そのほかの各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事 (6 について) ・周辺住民等に特に配慮する必要のある、市街地での夜間工事 ・周辺住民等に特に配慮する必要のある、DID地区での工事 (7 について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事 ・工事期間中の大半にわたって、交通解放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事 (8 について) ・事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事で、24時間対応の施工等により早期の完成が求められる工事 (9 について) ・作業現場が広範囲に分布している工事 (10 について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事

別紙-2【2-2】

#### 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 【総括監督員】 考查項目 細 対 応 事 項 【事例】具体的な施工条件等への対応事例 4 丁事特性 Ⅰ 施工条件等 Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応 (11 について) への対応 □ 11 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事 12 雨・雪・風・気温等の自然条件の影響が ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事 大きな工事 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事 | 13 被災箇所の措置や急峻な地形及び土石流危険 | (12 について) 渓流内での工事 ・河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事 14 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなけ ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事 ればならない工事 (13 について) 15 維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間 ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除 がかかる工事 16 その他〔理由: ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事 ・ 十石流危険渓流に指定された区域内における工事 (14 について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事 ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点 (15 について) とする。 ・維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事 (16 について) ・その他, 自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事 Ⅳ長期工事における安全確保への対応 17 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事 (全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 18 その他〔理由: ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点

※ T.事特性は、最大20点の加点評価とする。

評 価

※ 評価にあたっては、担当監督員・主任監督員の意見も参考に評価する。

とする。

評点: 点

【総括監督員】

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С						
6 社会性等	I 地域への	優れている	b より優れている	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない						
	貢献等	●評価対象項目										
		□ 周辺環境への配慮に積極的に	取り組んだ。									
		□ 現場事務所や作業現場の環境	を周辺地域との景観に合わせるなど、	積極的に周辺地域との調和を図った。								
			見学会等を実施して, 積極的に地域と	このコミュニケーションを図った。								
		□ 道路清掃などを積極的に実施し	, 地域に貢献した。									
		<b></b>	的に参加し,地域とのコミュニケーショ									
			支援又は行政などによる救援活動へ	の積極的な協力を行った。								
		その他〔理由:	その他〔理由:									
		●判断基準										
		※ 上記該当項目を総合的に半	川断して, a, a', b, b', c 評価を行	ŢŌ。								

・15 受注者が社会保険等未加入建設業者の下請負人と契約を締結した。(措置内容については、指名停止等の区分による)

【総括監督員】

考查項目	法令遵守等の該当項目	一 覧 表
7 法令遵守等		
	該当項目なし	
	措 置 内 容	点数
	□ 1 指名停止3ヶ月以上	-20点
	2 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点
	3 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点
	□ 4 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点
	5 文書注意	— 8点
	□ 6 口頭注意	— 5点
	7 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適	- 3点
	切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	
	8 その他( <u>理由:</u> )	
	<ul><li>□ 本考査項目(7法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事</li></ul>	原例で L 書の供罢がなった担合に 適田士 Z
	② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。	
	③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質記	
	<ul><li>□ 「工事関係有」とは、ヨ該工事免傷に促事する免傷に生人、監理技術有、主任技術有、申員記下請契約し、それを履行をするために従事する者に限定する。</li></ul>	証明貝、謂貝云性の兄勿使事職貝及びヨ該工事にめたろく
	<ul><li>4 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8 その何</li></ul>	他の頂目で減ずる地景を行う
	(不履行に対しては文書注意のうえ8点を減ずるものとし、文書注意等により履行された場合は5	
	【上記で評価する場合の適応事例】	OWE DESCRIPTIONS
	・ 1 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。	
	<ul> <li>2 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li> </ul>	
	<ul> <li>3 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> </ul>	
	<ul> <li>4 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄,砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法</li> </ul>	会に違反する事実が判明した。
	<ul> <li>5 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。</li> </ul>	11112007 3 17700 11713120
	・ 6 一括下請けや技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。	
	・ 7 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。	
	・8 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。	
	<ul> <li>9 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> </ul>	
	・10 下請代金を期日以内に支払っていない,不当に下請代金の額を減じているなど下請代金	支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。
	・11 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。	
	・12 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員	員,準構成員,企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。
	・13 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行	
	土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている	事実が判明した。
	・14 安全管理が不適切であったことから,死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害	唇を与えた公衆損害事故を起こした。
	1	

		上	万宜項目の万宜項目別理	E/用-XX		【使盆職貝】
考查項目	細 別	а	b	С	d	е
2 施工状況	I 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価対象項目			施工管理について,監督職員	施工管理について,監督職員
		☑ 契約書第20条第1項第1号~4	号に基づく設計図書の照査を行って	いることが確認できる。	が文書による改善指示を行っ	からの文書による改善指示に
		□ 施工計画書が工事着手前又は	施工方法が確定した時期に提出され	,所定の項目が記載されていると	<i>†</i> €.	従わなかった。
		ともに,設計図書の内容及び現	場条件を反映したものとなっているこ。	とが確認できる。		
		□ 工事期間を通じて,施工計画書	の記載内容と現場施工方法が一致し			
		現場条件又は計画内容に重要	な変更が生じた場合(工期や数量等の			
		その都度当該工事着手前に変	更計画書を提出していることが確認で	きる。		
		□ 工事材料を品質に影響がないよ	う保管していることが確認できる。			
		立会確認の手続きを事前に行っ	ていることが確認できる。			
		建設副産物の再利用等への取り	組みを行っていることが確認できる。			
		施工体制台帳及び施工体系図	を法令等に沿った内容で的確に整備	していることが確認できる。		
		□ 下請に対する引き取り(完成)検	査を書面で実施していることが確認で	<b>ごきる。</b>		
		□ 品質証明体制が確立され、ISO	001 又は品質証明員による関係書類	頁, 出来形, 品質等の確認を工事		
		全般にわたって行っていることか	確認できる。			
		□ 工事の関係書類を事前協議に	基づき不足なく簡潔に整理しているこ	とが確認できる。		
		□ 社内の管理基準の設定,管理力	が上種毎に明確であり、その内容	に基づき管理していることが確認		
		できる。				
		■ 電気設備等について、設備更新	時の新旧設備の切り替え作業を、作	業手順書やチェックリストにより		
		適切に実施していることが確認っ	<i>ご</i> きる。			
		◯ その他〔理由:		)		
		●判断基準				
		評価値が90%以上 ・・・・・・・	•••••a			
		評価値が80%以上90%未満	•••••b			
		評価値が80%未満 ・・・・・・・	••••c			
		① 当該「評価対象項目」のうる	5,評価対象外の項目は削除する。	ишини		
		② 削除項目のある場合は, 肖	除後の評価項目数を母数として計算	した比率(%)の値で評価する。		
		③ 評価値( %)=該当	f項目数( )/評価対象項目数	数( )		
		④ なお,削除後の評価対象」	頁目数が2項目以下の場合はc評価と	する。		

			* 7 / 1/2			·			[八五]
考查項目	細	別	a	a'	b	b'	С	d	e
3 出来形及び	全	般	出来形の測定が, 必	出来形の測定が,必	□ 出来形の測定が, 必	□ 出来形の測定が,必	出来形の測定が, 必	出来形の測定方法又	出来形の測定方法ス
出来ばえ			要な測定項目について	要な測定項目について	要な測定項目について	要な測定項目について	要な測定項目について	は測定値が不適切であ	は測定値が不適切であ
			所定の測定基準に基づ	所定の測定基準に基づ	所定の測定基準に基づ	所定の測定基準に基づ	所定の測定基準に基づ	ったため, 監督職員が文	ったため,検査職員が修
I出来形			き行われており, 測定値	き行われており、測定値	き行われており, 測定値	き行われており, 測定値	き行われており, 測定値	書で指示を行い改善さ	補指示を行った。
			が規格値を満足し, その	が規格値を満足し, その	が規格値を満足し, その	が規格値を満足し, その	が規格値を満足し, a~	れた。	
			ばらつきが規格値の概ね	ばらつきが規格値の概ね	ばらつきが規格値の概ね	ばらつきが規格値の概ね	b'に該当しない。		
			50%以内で,下記の「評	50%以内で,下記の「評	80%以内で, 下記の「評	80%以内で,下記の「評			
			定対象項目」の4項目以						
			上が該当する。	上が該当する。	上が該当する。	上が該当する。			
			●評価対象項目						
				把握できるよう. 出来形管理		夫していることが確認できる	•		
				づき管理していることが確認		yes er wach pape ees	o .		
			不可視部分の出来形		L C 00				
			写真管理基準の管理						
					て	管理していることが確認でき	:A		
			その他[理由:	いりがしていない 工事に フィ	て、血自体質に励成の工で	1 注していることが過じても	: V <sub>0</sub>		
			│ ※ ばらつきの判断は別	川紅二 4 参昭					
			次 はらうらの刊別はか	· 1 M ─ 4 参照					
				人们とマルマボウナッチの					
				全般を通じて評定するもの					
				計図書に示された工事目的		- 10 II I I I I I I I I I I I I I I I I I	1 <del></del>		
					」の測定項目,測定基準及	び規格値に基づき所定の出	出来形を確保する		
			管理体系である	-					
			④ 出来形管理項目	を設定していない工事は「	c」評価とする。				

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び 機	幾械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	·	優れている ●評価対象項目  居付に関する出来形 設備全般にわたり、形 施工管理基準で定められ 不可要ででの出の強力を対すででである。 を接管でで理理を表している。 ・ その他 「理由: ・ 判断基準 評価値が60%以上 評価値が60%以上 評価値が60%は上 評価値が60%は上 評価値が60%は上 におけるの。 ・ での他 「理由:	bより優れている 管理が容易に把握できるよ 状及び寸法の実測値が許 記録が撮影基準を満足し、 ていない出来形管理項目に が写真で確認できる。 厚管理が適切にまとめられ 形管理していることが確認 ている予備品に不足がない 設部品等の摩耗、損傷等に の%未満・・・・ の%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やや優れている  う, 出来形管理図などをエヺ 容範囲内であり、出来形のは出来形の確認ができる。 こついて、監督職員と協議の ており、出来形の確認ができる。 ことが確認できる。	cより優れている にしていることが確認できる。 権認ができる。 上で管理していることが確認 きる。 きる。 さる。 之化状況及び回復状況が	他の評価に該当しない。認できる。		劣っている 出来形の測定方法 は測定値が不適切であ

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	電気設備工事・	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
出来ばえ	通信設備工事:	●評価対象項目					□ 出来形の測定方法又	出来形の測定方法ス
	受変電設備工事	□ 据付に関する出来形	管理が容易に把握できるよ	う, 出来形管理図及び出来	形管理表を工夫していること	とが確認できる。	は測定値が不適切であ	は測定値が不適切であ
I出来形		□ 機器等の測定(試験)	結果が,その都度出来形管	管理図及び出来形管理表な	どに記録され, 適切に管理	していることが確認できる。	ったため, 監督職員が文	ったため、検査職員が値
	※上記欄に	写真管理基準の管理	項目を満足している。				書で指示を行い改善さ	補指示を行った。
	よらず,当該欄	不可視部分の出来形	が写真で確認できる。				れた。	
	で評価	設計図書で定められる	ていない出来形管理項目に	こついて, 監督職員と協議の	上で管理していることが確認	認できる。		
		設備全般にわたり、形	状, 寸法の実測値が許容質	節囲内であることが確認でき	る。			
		設備の据付,固定方法	<b>生が, 設計図書又は承諾図</b>					
		配管及び配線が設計	図書又は承諾図書とおり敷					
		一 行先などを表示した名	<b>占札が, ケーブルなどに分</b> か	り易く堅固に取り付けている	పం			
		<b>=</b>		て、設計図書の仕様を満足	していることが確認できる。			
			づき管理していることが確認					
			ている予備品等に不足が無	*				
			への二重表示、二重防護な	よど運用における不可抗力を	と想定した安全対策が			
		なされている。						
		□ その他〔理由:						
		② 削除項目のある ③ 評価値(	90%未満・・・・a' 80%未満・・・・b 70%未満・・・・b' ・・・・・・・・c 項目」のうち, 評価対象外の	目数を母数として計算した比 )/評価対象項目数(	率(%)の値で評価する。 )			

考查項目	工	種	a	a'	b	b'	С	d	е
	コンクリート		品質関係の試験結果の	ばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から半	川断する。<判断基準参照	<u> </u> >	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	構造物工事		[関連基準, 土木工事施	工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]	※ ばらつきの判断は	划紙一4参照。	又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
			●評価対象項目					あったため, 監督職員が	あったため,検査職員が
Ⅱ 品 質			□ コンクリートの配合試験	及び試験練りを行っており	り, コンクリートの品質(強度	·W/C,最大骨材粒径,均	塩化物総量,単位水量,	文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
			アルカリ骨材反応抑制	等)が確認できる。				された。	
			□ コンクリート受け入れ時	に必要な試験を実施して:	おり,温度,スランプ,空気量	量等の測定結果が確認でき	きる。		
			□ 圧縮強度試験に使用し	たコンクリート供試体が、	当該現場の供試体であるこ	とが確認できる。			
			□ 施工条件や気象条件に						
			できる。(寒中及び暑中	コンクリート等を含む)					
			コンクリートの圧縮強度	を管理し,必要な強度に違	幸した後に型枠及び支保工	の取り外しを行っていること	とが確認できる。		
			□ コンクリートの打設前に,	, 打継ぎ目処理を適切に	行っていることが確認できる	0			
			■ 鉄筋の品質が, 証明書	類で確認できる。					
			コンクリート打設までにお	さび, どろ, 油等の有害物	が鉄筋に付着しないよう管理	里していることが確認できる	, )。		
			■ 鉄筋の組立及び加工が	, 設計図書の仕様を満足	としていることが確認できる。				
			□ 圧接作業にあたり,作業	¢員の技量確認を行ってV	いることが確認できる。				
			□ コンクリートの養生が、記	设計図書の仕様を満足し <sup>*</sup>	ていることが確認できる。				
			□ スペーサーの品質及び	個数が, 設計図書の仕様	を満足していることが確認~	できる。			
			□ 有害なクラックがない。						
			■ その他〔理由:						
			●判断基準						
			評価値 -		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		
			h i livri litz	50%以下	80%以下	80%を超える	100 3 - 6 (11)		
			90%以上	a	a'	b	b		
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
			60%以上75%未満	b	b'	С	С		
			60%未満	b'	С	С	С		
			① 当該「評価対象項 ② 削除項目のある場 ③ 評価値( %	[目」のうち, 評価対象外の け合は, 削除後の評価項目 6)=該当項目数(	目数を母数として計算した比		評価する。		

		- 1 //VIDA	NAW - 1777 -	7.2日,6日加建川多	•			【快县城县】
考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	土 工 事	□ 品質関係の試験結果の	びらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	展>	□ 品質関係の測定方法	□ 品質関係の測定方法
出来ばえ	(切土,盛土,	[関連基準, 土木工事施	工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	堤防等工事)	※ ばらつきの判断は別	紙一4参照。				あったため, 監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質		●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		■ 雨水による崩壊が起こ	ないように,排水対策を急	実施していることが確認でき	: రె.		された。	
		□ 段切りを設計図書に基・	づき行っていることが確認	できる。				
		置換えのための掘削を	行うにあたり,掘削面以下					
		締固めが設計図書に定	められた条件を満足して					
		一層あたりのまき出し厚	を管理していることが確認	できる。				
		芝付け及び種子吹付を	設計図書に定められた条	・ 件で行っていることが確認	できる。			
				:件で行っていることが確認	- *			
			書を満足していることが確		1000			
			理に必要な試験を行って					
		法面に有害な亀裂がな						
			ů .	i足していることが確認でき	3.			
		その他[理由:	I E (C/CV/)////C/R/II & IM	THE CO.	ی. ا			
		CALCATA:						
		●判断基準						
				ばらつきで判断可能		1985 A restrict flore and the		
		評価値 -	50%以下	80%以下	80%を超える	- ばらつきで判断不可能		
		90%以上	a	a'	b	b		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		60%以上75%未満	b	b'	С	С		
		60%未満	b'	С	С	С		
		注 試験結果の打点数	<b>対等が少なくばらつきの判</b>	断が出来ない場合は評価	対象項目(評価値)だけで	評価する。		
		① 当該「評価対象項	[目]のうち, 評価対象外の	)項目は削除する。				
		② 削除項目のある場	合は,削除後の評価項目	数を母数として計算した比	上率(%)の値で評価する。			
		③ 評価値( %	6)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
		④ なお,削除後の評	価対象項目数が2項目以	【下の場合はc評価とする。				
		3				пшил		
	1	I						

	考查項目	I	種	a	a'	b	b'	С	d	е
# 150-02の利助は別願ー4参風	3 出来形及び	護岸•根固		品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
■ 番 質  ● 評別が発現目  動工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。  要込材及の網込的コンパリートの帰因的を、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 一般化プロッパ、石積(張)、接情、がてマット等における材料のから合わせえば離が、更込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。 一番	出来ばえ	水制工事		[関連基準, 土木工事加	施工管理基準, その他設計	・図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
<ul> <li>施工基語を平滑は仕上げていることが確認できる。</li> <li>裏込材及び順込めコンクリートの締固かを、電解が生じないよう十分に行っていることが確認できる。</li> <li>歳化プロック、石積(値)、設体、かごマット等における材料のから合わせては連絡が、裏込材が吸出しがないよう行っていることが確認できる。</li> <li>連岸工の帰途や曲島部の必要が達成できる。</li> <li>連岸工の帰途や曲島部の必要が達成できる。</li> <li>連岸工・治所での何で変ね合わせる。</li> <li>被工・治所での何で変ね合わせる。</li> <li>機工工・技術できる。</li> <li>機工工・規定した原本・注意はいて、材料の連絡を頂足していることが確認できる。</li> <li>機工において、規制の直がなく施工していることが確認できる。</li> <li>機工において、規制の直接などのから合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>機工において、側が高さがな、施工していることが確認できる。</li> <li>連環しお料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>連環し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>連環し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>連環し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>カ 音なクラクががい、</li> <li>その他 (連由:</li> <li>する他 (連加:</li> <li>よの今に関する。</li> <li>も</li></ul>				※ ばらつきの判断は別	別紙一4参照。				あったため、監督職員が	あったため,検査職員が
<ul> <li>※込柱及び馴込めコングリートの網園があ、空館が単しない以う十分に行っていることが確認できる。</li></ul>	Ⅱ 品 質			●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
議化プロック、石積(張)、法幹, かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないよう行っていることが確認できる。				施工基面を平滑に仕.	上げていることが確認できる	5.			された。	
ことが確認できる。     石積(添)工において、大きき及び重きが設計図書の仕録を満足していることが確認できる。     選生との解除や無縁部の処理が適切であり、必要心強度及び水密性を確保していることが確認できる。     選生なートが所定の幅で重ね合わせられ、端熱処理が設計図書の仕録を満足していることが確認できる。     核理工で、核理の種類、治質、食合をび変生が、設計制度の仕録を満足していることが確認できる。     枝田工、林田・飯田・				裏込材及び胴込めコン	ンクリートの締固めを, 空隙	が生じないよう十分に行っ	ていることが確認できる。			
不確(現)工において、大きさ及び重合が設計図書の仕様を信度していることが確認できる。   選岸工の場話や曲線部の処理が適切であり、姿を気度及び水色性を確保していることが確認できる。   選岸工の場所の確定単ね合わせられ、領部処理が設計図書の仕様を演足していることが確認できる。   選生工で、様生の種項、品質、配合及び変生が、設計図書の仕様を演足していることが確認できる。   根質工に、料町、火炬工、捨て工等において、材料の連結及びかか合わせが設計図書の仕様を演足していることが確認できる。   指定材料の高質が、証明参照で確認できる。   選座工において、棚が通ぎが水が施工していることが確認できる。   コンクリードプロッグ学を組修なで競技していることが確認できる。   瀬正にあたって、珠瀬筒所の湧水及び帯水等は、排除して施工していることが確認できる。   類屋は材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   対照基件				緑化ブロック, 石積(引	長), 法枠, かごマット等にお	3ける材料のかみ合わせ又	は連結が, 裏込材の吸出した	がないよう行っている		
護岸工の場部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。				ことが確認できる。						
<ul> <li>連水シートが所定の幅で重ね合わせられ、矯衝処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 権生工で、植生の種類、品質、配合及び業生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 根面工、料町、近水工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。</li> <li>基礎工において、報り過ぎが広く施工していることが確認できる。</li> <li>加工にわたって、床棚箇所の端入及び港水等は、排除して施工していることが確認できる。 埋尿し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 有音なクラックがない。</li> <li>その他(理由:</li> <li>● 判断基準</li> <li>「近ちつきで判断可能</li> <li>90%以下</li> <li>80%以下</li> <li>80%以下</li> <li>80%を超える</li> <li>90%以上</li> <li>75%以上の水流</li> <li>a a' b b</li> <li>b' b'</li> <li>60%以上で5%未満 a' b b' b'</li> <li>60%以上で5%未満 b b' c c c</li> <li>60%上で5%未満 b' c c c</li> <li>注 試験活果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</li> <li>① 当該「評価対象項目のある場合は、削除後の評価項目数を付款として計算した比率(%)の値で評価する。</li> <li>② 評価値( %) ⇒該当項目数(</li> <li>※) → 計当項目数(</li> <li>※) → 計当項目のある場合は、削除後の評価項目数を付款として計算した比率(%)の値で評価する。</li> <li>② 評価値( %) ⇒ 該当項目数(</li> <li>※) → 計当項目数(</li> <li>※) → 評価可以表(</li> <li>※) 申述可以表(</li> <li>※) 申述可以表(</li> </ul>					,大きさ及び重さが設計図	書の仕様を満足しているこ	とが確認できる。			
植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   接因工、水削工、戊床工、持名工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   接近材料の品質が、証明書質が感覚を含。   コンガリートプロッ学率有機が公装置していることが確認できる。   コンガリートプロッ学率を複像公装置していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   埋灰し材料について、設計の書からないできる。   はからできるの単断がないできる。   はちつきで判断不可能   50%以下   80%を超える   はちつきで判断不可能   50%以下   80%を超える   はちつきで判断不可能   50%以下   50%以下   50%以下   50%以下   50%以下   50%以下   50%以下で評価   5 c c c c c c c c c c c c c c c c c c				護岸工の端部や曲線	部の処理が適切であり, 必	要な強度及び水密性を確	保していることが確認できる。			
展園工, 水制工, 沈床工, 捨石工等において, 材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   指定材料の品質が、 部列書券が企施工でいることが確認できる。   本施工において、 説知書券が企施工でいることが確認できる。   加工にあたって、 味知箇所の湧水及び溶水等は、 排除して施工していることが確認できる。   加工に取けれていて、 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   担保し村料について、 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   生民 村料について、 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   本書かりかない。   その他(理由:				遮水シートが所定の幅	冨で重ね合わせられ, 端部	処理が設計図書の仕様を流	<b>満足していることが確認できる</b>	5.		
指定材料の品質が、証明書類で確認できる。				■ 植生工で,植生の種類	質, 品質, 配合及び養生が	,設計図書の仕様を満足し	ていることが確認できる。			
<ul> <li>基礎工において、掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。 コンクリードブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。 地工にあたって、床組箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 有害なクラックがない。 その他(理由:</li></ul>					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	才料の連結及びかみ合わせ	けが設計図書の仕様を満足し	していることが確認できる。		
□ コンクリートブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。 □ 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 □ 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 有害なクラックがない。 □ その他(理由: □ ばらつきで判断可能 □ がらした。										
施工にあたって、床午午前子の海水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。										
□ 理戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 有害なグラックがない。 □ その他(理由: □ ばらつきで判断可能										
●判断基準    ●判断基準				<b>=</b>		, <u>-</u>	こが確認できる。			
●判断基準    評価値   ばらつきで判断可能   ばらつきで判断不可能   100%以下   100%以下   100%以下   100%以下   100%以上   100%以						ていることが確認できる。				
●判断基準    評価値										
評価値     ばらつきで判断可能     ばらつきで判断不可能       90%以上     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %) = 該当項目数(     )/評価対象項目数(				□ その他し理由:						
評価値     ばらつきで判断可能     ばらつきで判断不可能       90%以上     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %) = 該当項目数(     )/評価対象項目数(										
評価値     ばらつきで判断可能     ばらつきで判断不可能       90%以上     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %) = 該当項目数(     )/評価対象項目数(										
評価値     ばらつきで判断可能     ばらつきで判断不可能       90%以上     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(     )										
評価値     ばらつきで判断可能     ばらつきで判断不可能       90%以上     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(     )				▲地址广甘油						
評価値       50%以下       80%以下       80%を超える       は5つぎで判断不可能         90%以上       a       a'       b       b         75%以上90%未満       a'       b       b'       c       c         60%以上75%未満       b       b'       c						げらつきで判断可能				
90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c       60%以上75%未満     b     c     c       60%未満     b'     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。     ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %) =該当項目数(     )/評価対象項目数(				評価値	50%以下	1	80%を超える	- ばらつきで判断不可能		
75%以上90%未満       a'       b       b'       b'         60%以上75%未満       b       c       c         60%未満       b'       c       c         注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目」のうち,評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値(       %)=該当項目数(       )/評価対象項目数(				90%KY F	, , , , ,			b		
60%以上75%未満       b       b'       c       c         60%未満       b'       c       c         注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目」のうち,評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )						-				
60%未満 b' c c c c こ 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。  ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )										
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。  ① 当該「評価対象項目」のうち,評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )										
② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )				= = 7 0 7 1 - 11: 4	 気数等が少なくばらつきの半					
② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )				1 100014314 1 1 1 1 1 1		317117 E-1714 30 - 300 E-1414 III	×4.54.54 (8) IIII III III   10.74.57	7 20		
③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )				① 当該「評価対象」	項目」のうち、評価対象外の	D項目は削除する。				
				② 削除項目のある	場合は,削除後の評価項目	3数を母数として計算したよ	と率(%)の値で評価する。			
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				③ 評価値(	%)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
						,,	•			
				3 contraction and the second and the	การแบบการแบบกลับการกับการกับการกับการกับการกับการกับการการการกับการการการการการการการการการการการการการก	uunnun muuniinin minimin muun minimin m		nunti		

考 査 項 目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び	鋼橋工事	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から料	判断する。<判断基準参照>	>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	(RC床版工事は	[関連基準, 土木工事店	施工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]	※ ばらつきの判断は別	別紙一4参照。	又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	コンクリート構造	●評価対象項目					あったため、監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質	物に準ずる)	【工場製作関係】					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		鋼材の種別, 品質を通	<b>適切に管理している。</b>				された。	
		溶接作業にあたり、作	業員の技量確認を行ってい	いることが確認できる。				
		□ 溶接作業にあたり、溶	接材料の使用区分が設計	図書の仕様を満足している	ことが確認できる。			
		溶接施工に係る施工	計画書を提出していることが	『確認できる。				
		孔空けによって生じた	まくれが削り取られているな	さど, きめ細やかに製作して	いることが確認できる。			
			1ないことが確認できる。					
		■ 塗装作業にあたり、塗	布面を十分に乾燥させて施					
		= = =	第1種ケレン後4時間以内					
			いて, 写真等で確実に空で					
			明書,塗料成績表により, 顰	製造年月日,ロット番号,色美	彩,数量が確認できる。			
		【架設関係】						
		H	ミ施され, 記録を保管してい					
				ンを実施していることが確認				
				て行っていることが確認で	きる。			
			証明書類で確認できる。					
		<b>=</b>		上げ面に水切勾配がつい				
				付していることが確認できる。		20-1		
					真及び強度を有していることだ	が確認できる。		
		H	及び膜厚管理を適切に行っ		_			
			温度,湿度,風速等の確認を	と行っていることが確認でき	る。			
		□ その他〔理由:						
		- Justine 44: No.						
		●判断基準		17/2 - 4 Vallaber 1/1-	1			
		評 価 値	500/ N/ T	ばらつきで判断可能	000/ + +71 > 7	ばらつきで判断不可能		
		000/171 F	50%以下	80%以下 a'	80%を超える	1.		
		90%以上75%以上90%未満	a a'	b a	b b'	b b'		
		60%以上75%未満	b	b,				
		60%以上75%未倘	b,	С	c c	c c		
			~	<u> </u>	 対象項目(評価値)だけで評			
		2	「		7.30年日(中川川胆ノにり(計	IIII ナ (J <sub>o</sub>		
				が負は削除する。 3数を母数として計算した比				
			場合は,削尿後の計画項目 %)=該当項目数(		学(70)が個で計画する。 )			
			70)-該ヨ頃日数( 評価対象項目数が2項目以	,,	/			
		単 生 ふわ、門外後の	中川刈多切日数か4切日り	ストック物ではいけつ叫くりる。				
	ı	I						

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	砂防構造物工事	品質関係の試験結果の	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	頁>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ		[関連基準, 土木工事施	E工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
		※ ばらつきの判断は別	月紙一4参照。				あったため、監督職員が	あったため,検査職員か
Ⅱ 品 質		●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		□ コンクリートの配合試験	良及び試験練りを行っておりる。	), コンクリートの品質(強度	₹・W/C, 最大骨材粒径,	塩化物総量,単位水量,	された。	
		アルカリ骨材反応抑制	等)が確認できる。					
		□ コンクリート受け入れ時	に必要な試験を実施して:	おり,温度,スランプ,空気	量等の測定結果が確認で	きる。		
		□ 圧縮強度試験に使用し	、たコンクリートの供試体が	, 当該現場の供試体であ	ることが確認できる。			
		□ 運搬時間, 打設時の搭	と入高さ,締固時のバイブレ	/ ーターの機種及び養生	f法が, 施工条件及び気象	条件に適しており, 定め		
		られた条件を満足して	いることが確認できる。(寒	中及び暑中コンクリート等	を含む)			
		□ コンクリートの圧縮強度	きを管理しており,必要な強	度に達した後に型枠及び	支保工の取外しを行ってい	<b>い</b> る。		
		□ 地山との取り合わせを	適切に行っていることが確	認できる。				
		鉄筋及び鋼材の品質が	が, 証明書類で確認できる	0				
		□ 有害なクラックがない。						
		コンクリート打設までさ	び, どろ, 油等の有害物が					
		鉄筋の組立及び加工が	が, 設計図書の仕様を満足	としていることが確認できる	0			
		施工基面を平滑に仕」	上げていることが確認できる	, ) <sub>o</sub>				
		アンカーの施工が,設	計図書の仕様を満足してい	いることが確認できる。				
		ボルトの締付確認が実	施され,記録を保管してい	ることが確認できる。				
		ボルトの締付機及び測	定機器のキャリブレーショ	ンを実施していることが確	認できる。			
		その他[理由:						
		●判断基準		ばらつきで判断可能		1		
		評価値	50%以下	80%以下	80%を超える	一 ばらつきで判断不可能		
		90%以上	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	a'	80%を超える b	b		
		75%以上90%未満	a a'	b	b'	b'		
		60%以上75%未満	a b	b'	С			
		60%表満	b'	C	C	С		
					<u> </u>	び価寸る		
		住 武鞅和未り打点	数寺が少なくはり フさの刊	例が山木ない物口は計単	対象項目(計画性/にりて	計画する。		
		① 当該「並無計争」	頁目」のうち、評価対象外の	11頁日7十割17分十ス				
					比率(%)の値で評価する。			
			%)=該当項目数(					
			767-1839年数( 平価対象項目数が2項目以	7 7 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	)			
		1 は、なが、円内が後の元	川川/13年日 女/パーム・只日と	ヽ I マノ勿 ロ マみじげ IIII C り る。				
		1					1	

出来ばえ (集水井工事を [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] 又は測定値が不適切で 又は測定値が不適切で 又は測定値が不適切で	考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
(本行か)	3 出来形及び	地すべり防止工事	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
□ 3	出来ばえ	(集水井工事を	[関連基準, 土木工事族	施工管理基準, その他設計	・図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
□ コンクリー・小の社合試験とび試験補助を行っており、コンクリートの出質(娘度・W/C、最大骨材粒化、塩化物総量、単位水量、アルガリ骨材度に抑制性)が減温できる。 □ これの理解は関い性に必要が対象と実施しており、湿度、スランブ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ 正確強度対験に使用したコンソリートの供款体が、温度場場の供数体であることが検認できる。 □ 遠野時間、打設時の数と高さ 結局時のメイブレーターの機長び変を力ませる。 □ 立とり中・の圧縮速度を管理しており、必要な速度に進した後に型枠及び支保エの取外しを行っている。 □ 地比との取り合われを選明に行っていることが確認できる。 □ 教治及び類材の高質が、証明書頭で確認できる。 □ 者はなうフランがない。 □ アンカーの加工が、設計図書の体理できる。 □ ライナーブレートの組み立てにあたり、帰心とと多くに配慮して地工していることが確認できる。 □ ライナーブレートの組み立てにあたり、帰心とと考くに配慮して地工していることが確認できる。 □ オ・ボベーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工して必己とが確認できる。 □ オ・ボベーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工していることが確認できる。 □ 表・排水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工して記憶をしていることが確認できる。 □ オ・ボベーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工して必要をしていることが確認できる。 □ オ・ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工していることが確認できる。 □ オ・ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工していることが確認できる。 □ オ・ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工していることが確認できる。 □ 子の他(理由: □ 15の以上下の水本菌 a' b b b c c c c c を 変数によるが表する b' c c c c c を 変数に対して評価である。 □ 計解が異なるの場にはいるようにはいるまのようにはいるまれるようにはいるようにはいるまではいるようにはいるまるようにはいるといるようにはいるとないる。まれるようにはいるといる。まれるようにはいる。まれるようにはいるといる。まれるようには		含む)	※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため, 監督職員が	あったため,検査職員か
アルカリ青村反応抑制等)が確認できる。 コンソリー・受け入れ物に必要な強敵を実施しており、温度、スランブ、空気景等の測定結果が確認できる。 圧積速度試験に使用したシンガートの供款体が、当該度場の供述体であることが確認できる。 運搬時間、打造時の投入高と、結固時のパイプレーターの機様及び乗生力法が、施工条件を含む) コンクリートの圧縮速度を管理しており、必要な速度に適上た後に型枠及び支保工の放外しを行っている。 地比しの取り合させを適切に行っていることが確認できる。 (本内などの取り合させを適切に行っていることが確認できる。 対断及び到料する出資は、選別書数で達むできる。 有害なフラックがない。 アンカーの施工が、設計図書の仕様を演足していることが確認できる。 ライナーブレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 東・排水ギーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工していることが確認できる。 をの他(理由:  ●判断基準  詳価値 50%以下 80%以下 80%以下 80%以下 80%以上 8 b b b b b b b b b b b b b b b b b b	Ⅱ 品 質		●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
□ コンクリート受け入土時に必要な経験を実施しており、温度、スランプ、空気養等の測定結果が確認できる。 □ 歴報始度が繋がに使用したコンクリートの供放体が、当該支場の供放体であることが確認できる。 □ 選択時間、打破時の投入高と、新聞時のハイブレーターの模種及び業セフルが、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を消取していることが確認できる。(集中及び着中コンクリート年余分が) □ コンクリートの圧縮機能を登離しており、必要が強度に進した後に塑や皮び支保工の取外しを行っている。   地山との取り含かせを適切に行っていることが確認できる。   有音なクランタがない。   アンカーの施工が、設計図書の仕様を選起していることが確認できる。   ライナーブレートの観点をすてにあたり、備心と至くに配慮して施工していることが確認できる。   ライナーブレートと地山との製団が少なくなるように施工していることが確認できる。   ライナーブレートと地山との製団が少なくなるように施工していることが確認できる。   ストループレートと地山との製団が少なくなるように施工上の起慮をしていることが確認できる。   本・藤水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の起慮をしていることが確認できる。   本・藤水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の起慮をしていることが確認できる。   本・藤水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の記慮を担える はらつきで判断不可能 90%以上 a a a' b b b' co c c の%以上 75%以上の多たが満 a' b b' b' b' の%以上 75%以上の多たが満計 b' c c c c c c c c c c c c c c c c c c			コンクリートの配合試験	<b>険及び試験練りを行ってお</b>	り, コンクリートの品質(強度	·W/C, 最大骨材粒径, 塩	国化物総量,単位水量,	された。	
□ 超級度款酸に使用したコンツートの供款体が、当該現場の供款体であることが確認できる。 □ 遠殿時間、打設時の投入高さ、裕値時のバイブレーターの機種及び発生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定めれた条件を通していることが確認できる。便乗を避しており、必要な過度に進した後に型枠及び支保工の取外しを行っている。 □ カンリリートの圧縮強度を管理しており、必要な過度に進した後に型枠及び支保工の取外しを行っている。 □ 増山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 □ 新家なグラックがない。 記引書頭で確認できる。			アルカリ骨材反応抑制	訓等)が確認できる。					
運動時間、打設時の投入高さ、締屆時のバイブレーターの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、 症められた条件を演足していることが確認できる。(寒年及び最上と後に型特及び支保工の取外しを行っている。   地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。   鉄筋及び解析の出質が、証明書類で確認できる。   対策とクラフがたい。   アンカーの雇工が、設計図書の仕様を清足していることが確認できる。   ライナーブレートの組み立てにあたり、偏心と高みに配慮して施工していることが確認できる。   ライナーブレートの組み立てにあたり、偏心と高みに配慮して施工していることが確認できる。   集・排水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。   全の他(理由:   150%以上 80%以上 80%を超える はちつきで判断可能 90%以上 75%以上90%未満 a' b b' b' b' 60%以上75%未満 b b b' c c c c 60%未満 b' c c c c 60%未満 b' c c c c 10%未満 b' c c c c 2 60%未満 b' c c c c 3 60%未満 b' c c c c 2 6 60%未満 b' c c c c 2 6 60%未満 b' c c c c 3 60%未満 b' c c c c 2 6 60%未満 b' c c c c c 3 60%を超える 61条 前除後の評価項目数を体験力は手能がよれば極対象項目(評価値)だけで評価する。 ② 前除項目のある場合は,削除後の評価項目数を体験力にて比較して比較にして比較にして比較にして比較にして比較にして比較にして比較にし			コンクリート受け入れ時	<b>寺に必要な試験を実施して</b>	おり,温度,スランプ,空気	量等の測定結果が確認でき	:る。		
であられた条件を満足していることが確認できる。(楽中及び暑中コングリート等を含む) コングリートの圧縮殖度を管理しており、必要な強度に産した後に塑棒及び支保工の取外しを行っている。 地にの取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 鉄筋及び解材の品質が、証明書類で確認できる。 イ書なグラッグがない。 アンカーの施工方、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ライナーブレートの組み立てにあたり、偏しと進みに配慮して施工していることが確認できる。 ライナーブレートを地止の密閉的がかなくならように施工していることが確認できる。 集・排水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 未・排水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 その他「理由:  ●判断基準  評価値 はらつきで判断可能 はらつきで判断可能 り			□ 圧縮強度試験に使用	したコンクリートの供試体が	,当該現場の供試体である	ることが確認できる。			
□ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取外しを行っている。   地山との取り合わせと適切に行っていることが確認できる。   鉄筋及び鰯材の風質が、証明書類で確認できる。   有害なクラックがない。  アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   ライナーブレートの組み立てにあたり、偏心と売みに配慮して施工していることが確認できる。   ライナーブレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。   東・排水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。   東・排水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。   その他(理由:			■ 運搬時間,打設時の掛	<b>殳入高さ,締固時のバイブ</b> 1	ノーターの機種及び養生力	法が, 施工条件及び気象系	条件に適しており、		
地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。   鉄筋及び飼材の品質が、証明書類で確認できる。			定められた条件を満足	足していることが確認できる	。(寒中及び暑中コンクリー	・卜等を含む)			
<ul> <li>鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。         <ul> <li>有害なラシックがない。</li> <li>アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>ライナープレートク組み立てにあたり、偏心と歪头に配慮して施工していることが確認できる。</li> <li>ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</li> <li>集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</li> <li>その他(理由:</li> </ul> </li> <li>● 判断基準         <ul> <li>群価値</li> <li>50%以下</li> <li>80%以下</li> <li>80%以下</li> </ul> </li> <li>90%以上</li> <li>a</li> <li>a'</li> <li>b</li> <li>b'</li> <li>c</li> <li>c</li> <li>c</li> <li>c</li> <li>さ</li> <li>で</li> <li>さ</li> <li>を超える</li> <li>b'</li> <li>b'</li> <li>c</li> <li>c</li> <li>c</li> <li>で</li> <li>さ</li> <li>で</li> <li>こ</li> <li>で</li> <li>さ</li> <li>で</li> <li>で</li> <li>で</li> <li>で</li> <li>で</li> <li>ご</li> <li>の(アンドル・カルン・カルン・カルン・カルン・カルン・カルン・カルン・カルン・カルン・カル</li></ul>			コンクリートの圧縮強度	度を管理しており,必要な強	度に達した後に型枠及び	支保工の取外しを行っている	る。		
有害なクラックがない。			□ 地山との取り合わせを	適切に行っていることが確					
アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   ライナーブレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。   ライナーブレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。   集林ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。   その他(理由:			鉄筋及び鋼材の品質:	が, 証明書類で確認できる					
ライナーブレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。         ライナーブレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。         集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。         その他(理由:         評価値       ばらつきで判断可能         90%以上       80%と超える         90%以上       a a' b b         75%以上90%未満 a' b b' c c c       b' b'         60%よ満 b' c c c       c         主 試験結果の打点教等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目のある場合は、削除後の評価項目数を母教として計算した比率(%)の値で評価する。         ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を日数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )/評価対象項目数( )/評価対象項目数( )			有害なクラックがない。						
ライナーブレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。         集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。         その他(理由:			アンカーの施工が, 設	:計図書の仕様を満足してい	いることが確認できる。				
<ul> <li>集・排水ボーリングエの方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。その他〔理由:</li> <li>●判断基準</li> <li>評価値</li> <li>第の%以下</li> <li>第の%以下</li> <li>第の%と超える</li> <li>第の%以上</li> <li>第の%以上</li> <li>第の%以上</li> <li>第0%以上</li> <li>第0%と超える</li> <li>第0%と超える</li> <li>第0%を超える</li> <li>第0%と超える</li> <li>第0%を超える</li> <li>第0%と超える</li> <li>第0%と対し、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>			□ ライナープレートの組み	み立てにあたり, 偏心と歪み	みに配慮して施工しているこ	とが確認できる。			
●判断基準    評価 値			□ ライナープレートと地口	山との隙間が少なくなるよう	に施工していることが確認っ	できる。			
●判断基準  評価値			集・排水ボーリング工の	の方向及び角度が, 適正と	なるように施工上の配慮を	していることが確認できる。			
iが ( i			- その他[理由:			)			
iが ( i									
iが ( i									
iが ( i									
評価値     50%以下     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %) =該当項目数(     )/評価対象項目数(			●判断基準						
50%以下     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(			証 価 値		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		
75%以上90%未満       a'       b       b'       b'         60%以上75%未満       b       c       c         60%未満       b'       c       c         注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目」のうち,評価対象外の項目は削除する。       ②       削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値(       %)=該当項目数(       )/評価対象項目数(       )			H1 m4 m2	50%以下	80%以下	80%を超える	100 20 (110) 1 110		
60%以上75%未満       b       b'       c       c         60%未満       b'       c       c         注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )       )/評価対象項目数( )			90%以上	a	a'	b	b		
60%未満       b'       c       c         注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目」のうち,評価対象外の項目は削除する。         ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。  ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			60%以上75%未満	b	b'	С	С		
① 当該「評価対象項目」のうち,評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			60%未満	b'	С	С	С		
② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			注 試験結果の打点	(数等が少なくばらつきの半	断が出来ない場合は評価	対象項目(評価値)だけで記	平価する。		
② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )							11111		
③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			① 当該「評価対象」	項目」のうち,評価対象外の	D項目は削除する。				
			② 削除項目のある:	場合は, 削除後の評価項目	目数を母数として計算したよ	と率(%)の値で評価する。			
④ なお,削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			③ 評価値(	%)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
			④ なお, 削除後の	評価対象項目数が2項目以	以下の場合はc評価とする。				

考 査 項 目	工	種	a	a'	b	b'	С	d	e
3 出来形及び	舗装工	事	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目の	の履行状況(評価値)からキ	判断する。<判断基準参照:	>	□ 品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	(アスファルト舗	装工)	[関連基準, 土木工事店	施工管理基準, その他設計[	図書に定められた試験]		ı	又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
			※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため, 監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質			●評価対象項目				,	文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
l			【路床·路盤工関係】				,	された。	
İ			=	た試験方法でCBR値を測定			,	1	
l			■ 路床及び路盤工のプ	ルーフローリングを行ってい	ることが確認できる。		,	1	
İ		Ļ	=	度管理が,設計図書の仕様		できる。	,	1	
l		Ļ	=	料が均一になるよう施工して		1			
l l			=	て, 路床面, 下層路盤面の酒	_,				
l l		Ĺ	=	ー層の仕上がり厚を20cm以	- *				
l i		L		<b>構造物の隣接箇所や狭い箇</b>	tり施工していることが '	1	•		
l i		L	確認できる。					1	•
ļ i		L	_ その他〔 <u>理由:</u>	×1				1	
l i		_	【アスファルト舗装工関係		<b>生いの仕田コンナンナー</b>	河南の子の事が ニュー	24.7	1	
l i		Ŀ				制度の証明書類により確認で	できる。	1	
ļ i		F		って,上層路盤面の浮き石な			ゆ却ったフ		•
ļ i		F	<b>-</b>			<b>隻管理を記録していることが</b> る	唯能 ぐざる。		•
l i		F		,定められた条件を満足して が、記卦図書に定められた*		<b>でキ</b> ス		1	•
ļ i		F	=	が, 設計図書に定められた数 位置 構造物との接合面の		でさる。 兼を満足していることが確認 <sup>、</sup>	でキス		
ļ i		F	=	似直,構造物との接合面のク 運搬及び舗設にあたって,気			こくさる。		
l i		F	=	連搬及い舗設にめにつく、۶ の仕様を満足していることが		ことは再りている。			
İ		F	<ul><li>」 密度管理が設計図書</li><li>→ その他[理由:</li></ul>	シエ水で何たしていることか	「中田世で へひむ。	ì		1	•
İ		L	」「こくグルロ(左田・					1	•
İ								1	
			●判断基準				ı	1	
					ばらつきで判断可能		1984 - A - Martine	1	
			評価値	50%以下	80%以下	80%を超える	<ul><li>ばらつきで判断不可能</li></ul>	1	
			90%以上	a	a'	b	b	1	
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	1	
			60%以上75%未満	b	b'	С	С		
			60%未満	b'	С	С	С		
			注 試験結果の打点	〔数等が少なくばらつきの判。	断が出来ない場合は評価を	対象項目(評価値)だけで評	で価する。	1	
			200000000000000000000000000000000000000	нинининининининининининининининининини	ининининининининининининининининининин	нинининининининининининининининининини	- <u>n</u>	1	
			① 当該「評価対象」	項目」のうち,評価対象外の	項目は削除する。			1	
			② 削除項目のある	場合は, 削除後の評価項目					
			③ 評価値(	%)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
			④ なお,削除後の	評価対象項目数が2項目以	下の場合はc評価とする。				
			•						

考查項目	工種		a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び	舗装工事	<b></b>	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から料	判断する。<判断基準参照	>	品質関係の測定方法	□ 品質関係の測定方法
出来ばえ	(コンクリート舗装)	工)	[関連基準, 土木工事	施工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]	※ ばらつきの判断は別	別紙一4参照。	又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	(ブロック・		●評価対象項目					あったため, 監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質	薄層舗装工)		_ 【路床·路盤工関係】					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
			□ 設計図書に定められた	に試験方法でCBR値を測定	<b>ごしていることが確認できる。</b>			された。	
		Ļ	」 路床及び路盤工のプ	ルーフローリングを行ってレ゙	ることが確認できる。				
		Ļ	■ 路床及び路盤工の密	度管理が, 設計図書の仕様	<b>長を満足していることが確認</b>	できる。			
		Ļ	■ 路床及び路盤の安定	処理は材料が均一になるよ	う混合し,所定の混合深さ	で施工していることが確認で	きる。		
		Ļ	=	.,,		てから施工していることが確			
		Ļ	_ 路床盛土において, -	-層の仕上がり厚を20cmじ	J下とし,各層ごとに締固め <sup>、</sup>	て施工していることが確認で	きる。		
		L		<b>靖造物の隣接箇所や狭い箇</b>	i所における締固めが,タン	パ等の小型締固め機械によ	り施工していることが		
		Ļ	確認できる。						
		L	_ その他〔理由:						
		Ļ	【コンクリート舗装工関						
		L	_		), コンクリートの品質(強度・	·W/C, ·最大骨材粒径, 增	塩化物総量,単位水量,		
		L	アルカリ骨材反応抑制						
		Ļ	=	.,		施工していることが確認でき	- 0		
		Ļ	=			量等の測定結果が確認できる	3.		
		Ļ	=		該現場の供試体であること				
		L		及び養生方法が, 施工条件	及び気象条件に適しており	,設計図書に定められた条	件を満足している		
		Ļ	ことが確認できる。						
		ŀ	=	コンクリートを敷均しているこ					
		L			う保管していることが確認で	きる。			
		F	【ブロック・薄層舗装工						
		F	=	め, 勾配を路盤面で確保し <sup>*</sup>	ている。				
		F	□ 目地砂の充填が確認						
		L		か確認し,有害物は除去され	れている。				
			●判断基準		ばた へ キ 不 如 帐 司 坐				
			評 価 値	50%以下	ばらつきで判断可能 80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
			90%以上	50%以下 a	80%以下 a'	80%を超える b	b		
			75%以上90%未満	a,	b	b'	b'		
			60%以上75%未満	b	b'	С	С		
			60%未満	b,	С	С	С		
			7 1 11 4	<u>。</u> 数等が少なくばらつきの判					
			2""""""""""""""""""""""""""""""""""""""	、	Im 1. Ø0				
				場合は、削除後の評価項目					
			1 0						
				%)=該当項目数( 評価対象項目数が2項目以	77 111 1111 4 14 17 17 17 17 17	)			
					1 1				

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
3 出来形及び	法 面 工 事	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	□ 品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	(種子吹付工,	[関連基準, 土木工事加	施工管理基準, その他設計	・図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	客土吹付工,	※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため、監督職員が	あったため,検査職員か
Ⅱ 品 質	植生基材吹付工)	●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		【共通】					された。	
		加工基面を平滑に仕	上げていることが確認できる	る。(特に法枠工, コンクリー	ト又はモルタル吹付工関係	)		
		加工に際して、品質に	害となる施工面の浮き石や	Pゴミ等を除去してから施工	していることが確認できる。			
		<ul><li>盛土の施工にあたり、</li></ul>	法面の崩壊が起こらないよ	う締固めを十分行っている	ことが確認できる。			
		■ 雨水による崩壊が起こ	らないように,排水対策を	実施していることが確認でき	<b>きる</b> 。			
		─ その他〔理由:			)			
		【種子吹付工, 客土吹	付工,植生基材吹付工関	係】				
		土壌試験の結果を施工	工に反映していることが確認	認できる。				
		ネットなどの境界に隙	間が生じていないことが確認	認できる。				
		ネットなどが破損を生し	こていないことが確認できる	j <sub>o</sub>				
		吹付け厚さが均等である。	ることが確認できる。					
		使用する材料の種類,	品質,配合等が設計図書	の仕様を満足していることだ	が確認できる。			
			た条件を満足していることが	『確認できる。				
		その他〔理由:			)			
		a dutter the We						
		●判断基準		 ばらつきで判断可能		1		
		評 価 値	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
		90%以上	a	a'	80 /0を超える b	b		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		60%以上75%未満	b	b'	С	С		
		60% 未満	b'	C	С	С		
			ь		<u></u> 対象項目(評価値)だけで割			
		1上 12-14大小日本2月1 /2	M サル・ク は Nはり フロップド	3月14.日少なた。20日19年二	// 3/2×日 (FI	一   / 'め。		
		① 当該「評価対象」	項目」のうち、評価対象外の	)項目け削除する				
				する。 目数を母数として計算したり	(※)の値で評価する			
			%)=該当項目数(		)			
			7-7 12:1-3:11	以下の場合はc評価とする。	,			
		■ ② ′442, 11100 仅 <sup>(2)</sup> 1	11	ヘー・ノ刎口での町ЩСりる。				

考 査 項 目	工種		a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	法 面 工 事	<b></b>	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照)	>	品質関係の測定方法	□ 品質関係の測定方法
出来ばえ	(コンクリート又は		[関連基準, 土木工事加	施工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	
	モルタル吹付工	)	※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため, 監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質			●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
			_【 共 通】					された。	
		Ĺ	=	_ /	0 1111 /	ト又はモルタル吹付工関係)	)		
		Ļ	=	害となる施工面の浮き石や					
		L	=,	法面の崩壊が起こらないよ					
		L		らないように,排水対策を実	<b>尾施していることが確認でき</b>	:3.			
		L	その他〔 <u>理由:</u>			]			
			•						
			【コンクリート又はモル	_	to - 11 126 2 24 = -	) )			
		Ļ	=	品質及び配合が,設計図		とか確認できる。			
		ŀ	=	em以上確保されていること	か帷認できる。				
		ŀ		いないことが確認できる。	ことをエレマンフェレバルコ	7 +- 7			
		F		おいて、事前に吸水させて	いら他上していることか確認	3 できる。 -			
		F	」 吹付け厚さが均等であ	うることが傩認 ぐざる。 層以上に分割して施工して	1、ファルボル部・バキフ				
		F	=	曽以上に分割して他工して したコンクリートの供試体が		ことしが確認できる			
		F		こにコンクリードの展試体が こう跳ね返り材料の処理を行	,				
		F	=	こっては、雨水などは浸透し					
		F	<ul><li>□ 伝角の気されりにあた</li><li>□ その他〔理由:</li></ul>	こうでは、附かなどは反应し	ないよりに地田に合き込ん				
			●判断基準						
					ばらつきで判断可能		ばと ~ キャを固断 不 司 台		
			評価値	50%以下	80%以下	80%を超える	・ ばらつきで判断不可能		
			90%以上	a	a'	b	b		
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
			60%以上75%未満	b	b'	С	С		
			60%未満	b'	С	С	С		
			注 試験結果の打点	数等が少なくばらつきの判	断が出来ない場合は評価	対象項目(評価値)だけで評	ア価する。		
			2				nu		
			① 当該「評価対象」	頁目」のうち, 評価対象外の	項目は削除する。				
				場合は, 削除後の評価項目		2率(%)の値で評価する。			
					// HI IM/13/00 // IM/	)			
			④ なお,削除後の	評価対象項目数が2項目以	、下の場合はc評価とする。				

考查項目	工	種	a	a'	b	b'	С	d	e
3 出来形及び	法 面	工事	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から料	判断する。<判断基準参照)	>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	(現場打法枠	ĽΣ,	[関連基準, 土木工事族	施工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	プレキャスト	、法枠工	※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため, 監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質	アンカーエ	)	●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		ŀ	【 共 通】					された。	
		ŀ	_	_ /		ト又はモルタル吹付工関係)	)		
		ŀ	=		ゔゴミ等を除去してから施工し				
		ŀ			う締固めを十分行っているこ				
		ŀ		こらないように,排水対策を9	実施していることが確認でき	る。			
		ŀ		-0. 12. VI. II A. 2. X **					
		ŀ		プレキャスト法枠工含む)】					
		ŀ	<b>=</b>		書の仕様を満足していること	にか確認できる。			
		ŀ		ぎおりの長さで施工しているご		7			ı
		ŀ			値されていることが確認できる  +サヒの供酵体できることが確認				
		ŀ	<ul><li>□ 強度試験に使用した-</li><li>□ 枠内に空隙がないこと</li></ul>		場の供試体であることが確	がくさる。			ı
		ŀ	□ 作りに至原がないこと ■ 層間にはく離がないこ						ı
		ŀ	_		行っていることが確認できる。				
1		ŀ	<ul><li>□ 不良画所が主じない。</li><li>□ その他[理由:</li></ul>	ヘッツロダダメロンアナイオマノ人とと主で1丁	」、 <・ の一口とは世界の へ () ()。	٦			•
		ŀ	【アンカー工関係】						•
		ŀ	削孔径, 位置, 長さ, ラ	方向が確認できる。					ı
		ŀ	<ul><li>□ 孔内洗浄が実施される</li></ul>						
		ŀ	グラウト注入が的確に						ı
		ŀ	頭部処理が的確に実						•
				確認試験を実施し品質が確認	確認されている。				•
		ŀ	1						•
		ŀ	●判断基準				_		
		ŀ	評 価 値		ばらつきで判断可能		<ul><li>ばらつきで判断不可能</li></ul>		
		ŀ		50%以下	80%以下	80%を超える	PROPERTY AND ACCUMENTATION		
		ŀ	90%以上	a	a'	b	b		
		ŀ	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		ŀ	60%以上75%未満	b	b'	С	С		
		ŀ	60%未満	b'	C	C	C		
			注 試験結果の打点	「数等が少なくばらつきの判	断が出来ない場合は評価>	対象項目(評価値)だけで評	性価する。		
		ŀ		<b>第日、のごと、 ぎやりをリ</b>	. オギロ トトルリロ人 ユーマ		W		
		ŀ	I	項目」のうち,評価対象外の		本(0/)のはマギケリマ			
		ŀ	1 0 11111 1111		目数を母数として計算した比 ) /評価計算項目数(				
		ŀ	0	%)=該当項目数( 証価対象項目数が2項目以	77 111 11-11 4:4:2:11:22:1	)			
		ŀ	(型) なお, 則除後の	評価対象項目数が2項目以	、「い物質はC評価とする。				'

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	基礎工事及び	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	□ 品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	地盤改良工事	[関連基準, 土木工事加	施工管理基準, その他設計	・図書に定められた試験]	※ ばらつきの判断は	別紙一4参照。	又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
		●評価対象項目					あったため, 監督職員が	あったため、検査職員な
Ⅱ 品 質		【杭関係(コンクリート・	鋼管・鋼管井筒・場所打,	深礎等)】			文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
			がないことが確認できる。				された。	
					ており, その記録を整理してい	ハることが確認できる。		
			亢本体を損傷していないこと					
			設計図書を満足しているこ					
		<b>=</b>	して, 設計図書の仕様を満		る。			
			ることが, 掘削深さ, 掘削土					
		<b>—</b> ************************************	レミー管をコンクリート内に					
			孔内水位の変動及び安定					
		いることが確認できる。						
				,	足していることが確認できる。			
			み立てにあたり,偏心と歪み		ことが確認できる。			
			どが施工記録により確認で		) #/			
			クの比重管埋などの品質(	ご保わる事項の管理資料を	を整理していることが確認でき	<u>き</u> る。		
		その他〔 <u>理由:</u>						
		【地盤改良関係】	記録が整理され、設計図書	の仏様も準口していてこ	よ <i>ごTh</i> r ラカーバ キ.フ			
			に郵が登埋され、設計凶書 スラリー噴出量, 強度等の					
			施し, 改良材の選定, 必要					
			起じ,以及何の選定,必 <i>要</i> 良されているとともに,十分					
		一 その他[理由:	KC40CV DCCOVC, 177	は弦及及し入れ方で唯体	〕   10 (4 のここれ。  10 (6 の。)			
		●判断基準			,			
				ばらつきで判断可能		. 20 S S S S S S S S S S S S S S S S S S		
		評価値	50%以下	80%以下	80%を超える	- ばらつきで判断不可能		
		90%以上	a	a'	b	b		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		60%以上75%未満	b	b'	С	С		
		60%未満	b'	С	С	С		
		注 試験結果の打点	(数等が少なくばらつきの判	]断が出来ない場合は評価	「対象項目(評価値)だけで記	平価する。		
		① 当該「評価対象」	項目」のうち, 評価対象外の	)項目は削除する。				
		② 削除項目のある	場合は, 削除後の評価項目	目数を母数として計算した.	北率(%)の値で評価する。			
		③ 評価値(	%)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
		④ なお,削除後の	評価対象項目数が2項目じ	J下の場合はc評価とする。				

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	コンクリート橋	品質関係の試験結果の	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	□ 品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	上部工事	[関連基準, 土木工事施	面工管理基準, その他設計	·図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	(PC及びRC	※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため、監督職員が	あったため,検査職員か
Ⅱ 品 質	を対象)	●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		コンクリートの配合試験	良及び試験練りを行っておりる。	0, コンクリートの品質(強度	·W/C, 最大骨材粒径, 塩	至化物総量, 単位水量,	された。	
		アルカリ骨材反応抑制	刂等)が確認できる。					
		コンクリートの受け入れ	時に必要な試験を実施し	ており、温度、スランプ、空	気量等の測定結果が確認で	ぎきる。		
		圧縮強度試験に使用し	<sub>ン</sub> たコンクリートの供試体が	, 当該現場の供試体である	ることが確認できる。			
			こ適した運搬時間, 打設時	Fの投入高さ及び締固め方	法が,定められた条件を満足	足していることが確認		
		できる。(寒中及び暑中						
				こ達した後に型枠及び支保	とが確認できる。			
		鉄筋の品質が,証明書	77X 17MM2 1C 30					
				十図書の仕様を満足してい				
					理していることが確認できる。	0		
			業員の技量確認を行ってい					
			,	としていることが確認できる。				
			設計図書の仕様を満足し、		-1 1774-27			
				られた条件を満足している				
				書の仕様を満足していること 前に実施していることが確				
		<b>=</b>		別書の仕様を満足している 図書の仕様を満足している				
		=		公書の仕様を満足して 役計図書の仕様を満足して				
					▼ることが確認で 本を用いていることが確認で	きろ		
		有害なクラックがない。		KTVIIIC40W 400CMBV	一方に こうしん こうしょう かんしょう	C.2°		
		その他[理由:			ì			
		●判断基準						
				ばらつきで判断可能		1 What has a short blood and a short		
		評価値 •	50%以下	80%以下	80%を超える	- ばらつきで判断不可能		
		90%以上	a	a'	b	b		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		60%以上75%未満	b	b'	С	С		
		60%未満	b'	С	С	С		
		注 試験結果の打点	数等が少なくばらつきの判	J断が出来ない場合は評価	対象項目(評価値)だけで評	平価する。		
		① 当該「評価対象項	頁目」のうち,評価対象外の	)項目は削除する。				
		② 削除項目のあるな	場合は, 削除後の評価項目	目数を母数として計算した比	上率(%)の値で評価する。			
		③ 評価値(	%)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
		④ なお,削除後の記	平価対象項目数が2項目じ	人下の場合はc評価とする。				

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	塗 装 工 事	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ		[関連基準, 土木工事加	五工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
		※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため、監督職員が	あったため,検査職員か
Ⅱ 品 質		●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		□ 塗装作業にあたり, 塗	布面を十分に乾燥させて加		された。			
		□ ケレンを入念に実施し	ていることが確認できる。					
		□ 天候状況の確認,気温	温及び湿度の測定を行い。	塗装作業を行っていることだ	が確認できる。			
		□ 塗料を使用前に撹拌し	, 容器の塗料を均一な状	態にしてから使用しているこ	とが確認できる。			
		□ 鋼材表面及び被塗装	面の汚れ,油類等を除去し	塗装を行っていることが確認	認できる。			
		塗料の空缶管理につい	ハて写真等で確実に空では	らることが確認できる。				
		<b>塗り残し, ながれ, しわ</b>	等がなく塗装されているこ	とが確認できる。				
		溶接部,ボルトの接合	部分,構造の複雑な部分に	こついて, 必要な塗膜厚を値	雀保していることが確認でき	る。		
			明書,塗料成績表により, 動					
		その他[理由:						
		●判断基準						
		評価値		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		
			50%以下	80%以下	80%を超える	はりつらく刊劇は、引肥		
		90%以上	a	a'	b	b		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		60%以上75%未満	b	b'	С	С		
		60%未満	b'	С	С	С		
		注 試験結果の打点	数等が少なくばらつきの判	断が出来ない場合は評価:	対象項目(評価値)だけで評	呼価する。		
		₹₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩				nii		
		① 当該「評価対象」	頁目」のうち, 評価対象外の	)項目は削除する。				
		② 削除項目のある	場合は, 削除後の評価項目	目数を母数として計算した比	:率(%)の値で評価する。			
		③ 評価値(	%)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
		④ なお,削除後の記	平価対象項目数が2項目じ	人下の場合はc評価とする。				

考查項目	工	種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	トンネル工事	-	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	品質関係の測定方法	□ 品質関係の測定方法
出来ばえ			[関連基準, 土木工事加	超工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
			※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため、監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質			●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
			□ コンクリートの配合試験	険及び試験練りを行っており	, コンクリートの品質(強度	·W/C, 最大骨材粒径, 塩	[化物総量, 単位水量,	された。	
			アルカリ骨材反応抑制	引等)が確認できる。					
			□ コンクリート受け入れ時	<b>テに必要な試験を実施して</b> お	おり,温度,スランプ,空気量	量等の測定結果が確認でき	る。		
			圧縮強度試験に使用	したコンクリートの供試体が	, 当該現場の供試体である	ことが確認できる。			
			施工条件や気象条件	に適した運搬時間,打設方	法及び締固め方法が,定と	かられた条件を満足している	ことが確認できる。		
			吹付コンクリートの配合	・及びロックボルトの種別, 非	見格が,設計図書の仕様を	満足していることが確認でき	きる。		
			設計図書に定められた	上岩区分(支保エパターン台	らむ)の境界を確認して施口	こを行っていることが確認でき	きる。		
			坑内観察調査などに~	ついて,設計図書の仕様を注	<b>満足していることが確認でき</b>	<b>さ</b> る。			
			計測管理を日々行って	ており,その結果に基づいた	上施工を行っていることが確	認できる。			
				以上重ね合わせて施工して					
			_	,	た後に, 吹付コンクリートの	)一層の厚さが15cm以下で	『地山と密着するよう施工		
			していることが確認で	0					
						で施工していることが確認で	きる。		
				バ,設計図書の仕様を満足					
				使用する場合は,ロックボノ	いい等の突起物にモルタル・	や保護マット等で防護対策を	を行っていることが確認		
			できる。 ローバット・ロート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	And the second s		64 L - 1/2	24/ 27 - 2 - 4		
				側壁コンクリートとアーチコ	ンクリートの打継目が同一	線上で施工していないことが	『確認できる。		
			その他〔理由:						
			■ Mather # Wh						
			●判断基準		が これを MMに 寸坐				
			評 価 値	50%以下	ばらつきで判断可能	80%を超える	ばらつきで判断不可能		
			90%以上		80%以下 a'	80%を超える b	b		
			75%以上90%未満	a a'		b'	b'		
			7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		b b'				
			60%以上75%未満	b h'	b C	С	c c		
			7	5		<u> </u>			
			住 武阙和木切打点	数寺が少なくはりつさり刊	例が山木ない場合は計画	列多項目(計画値/だり)で計	71回9る。		
			① 业数「韧体处色」	頁目」のうち,評価対象外の	1百日74間60十2				
				場合は、削除後の評価項目		素(0/)の値で評価する			
				物 日は, 門 原後の 計画 項 日 %) =該 当 項 目 数 (		) (70)の個で計画する。			
				767該ヨ頃日数( 評価対象項目数が2項目以		/			
			・	11   四 / 3 3 7 月 页	. I マンツ ロ (みい) III ( ) る。				
	l								

【檢查職員】

		- 1.794/13	THUM THE YELD	7万里,其日加建川多	<u> </u>			【快县帜只
考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	植栽工事	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ		[関連基準, 土木工事族	施工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
		※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため、監督職員が	あったため、検査職員か
Ⅱ 品 質		●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		活着が促されるよう管:	理していることが確認できる	),			された。	
		■ 樹木などに損傷, はち	くずれ等がないよう保護養	・ 生を行っていることが確認~	できる。			
			ある害虫等がいないことが研		1000			
			の剪定,整形その他必要な					
			に触れないよう均一に施肥					
				「穴底部を耕していることがる	確認できる			
			よう設置していることが確認		東田市 く C る。			
			より設置していることが確認 い場所に据付けていることが	- ·				
		その他[理由:	·物力(に)近けけくいることが	14年100 くさる。	١			
		a decision the Note						
		●判断基準		1 2 m Strathland Alex		T		
		評 価 値	50%以下	ばらつきで判断可能 80%以下	80%を超える	- ばらつきで判断不可能		
		90%以上	a	a'	80 70 を超える b	b		
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		60%以上75%未満	b	b'	С	С		
		60%未満	b'	С	С	С		
		7 7 7	数等が少なくばらつきの判					
		TT 12 (10) (1/10) (1.5.11) (1.5.11)	(3/, 1/ / ) . 4 (14 ) > ( 1/ )	1614 H76.81 W 1100H III	八多人人口 (四) 四) (四) (四)	Т (ш. / 0-0		
		① 当該「評価対象」	項目」のうち、評価対象外の	)項目け削除する				
				数を母数として計算した比	· 率(%)の値で評価する			
				)/評価対象項目数(				
			707 -	77 117 11-11 4 1 4 1 7 1 7 1 7 1 7 1	,			
		1 (1) (340), F1(1) (40)		A T V J J J J J J J J J J J J J J J J J J		nnin.		

<ul> <li>3. 田東京及び 機器と国際を 機器と国際を</li></ul>	考 査 項 目	工 種	a	a'	b	b'	С	d	е
② 横 工 平	3 出来形及び	防護柵(網)・	品質関係の試験結果の	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照	>	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
■ 計画権政	出来ばえ	標識•区画線等	[関連基準, 土木工事施	五工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
防海相殻震要薬・投稿液率検索を設定と等、直移程率・レンドック学の現たを活起していることが確認できる。   防海相等の東部の仕上が面にはったって、無筋及び軟筋コンタートの現定を消退していることが確認できる。   防海相等の東西に対した。   無数数の地震が大きが高いと対したしていることが確認できる。   最高数量内に、		設置工事	※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため, 監督職員が	あったため,検査職員が
防護権等の表現の生土が高において、無力の利力と考慮が生じたいように施工していることが確認できる。   防護権等の支持の発生ではためたの工、無数解表面へ影響がないよう施工していることが確認できる。   防護権等の支持の対象にためたの工、無数解表面へ影響がないよう施工していることが確認できる。   張藤健 護の別について地態の地質力を把助して、施工していることが確認できる。   防護権等の支柱の限人表が、設計回書の仕権を潰足していることが確認できる。   ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計回書の仕事を潰していることが確認できる。   ガードケーブルを対比支柱を土中に設置する場合、対別したコングートが設計図書に定められた財産の生きる。   マさん。 マイント式(常温で) 医血縁に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。   区面線を重要が別本等で設計知書の仕跡を満足していることが確認できる。   区面線を直接の近れを前の分別が生が、設計開きの仕様を満足していることが確認できる。   区面線を指表の発用及び使的の別別性が、設計開きの仕様を満足していることが確認できる。   区面線を指表の場合、表示料(競争)のみの除去だっており、野面への影響が最小限だなっていることが確認できる。   区面線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   区面線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   区面線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   での他(理由: 100%以上 あ	Ⅱ 品 質							文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
防護権等の基本の施工にあたって、無額を皮肉除るシャリートの現在を満足していることが確認できる。   防護権等の支柱の施工にあたって、無数薄波面へ影響がないよう施工していることが確認できる。   基础設置箇所について連載の地耐力を把随して、施工によることが確認できる。   最高設置箇所について連載の地耐力を把随して、施工にていることが確認できる。   カードケーグルを支柱に向ける場合、参封付属すと認んが預定の進力を与えているのが確認できる。   カードケーブルを支柱に向ける場合、参封付属すと認ったの対しであることが確認できる。   カードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打破したコンクリートが設計図書に定められた競度以上であることが確認できる。   区面線の厚かが見木等で設計図事か仕様を満足していることが確認できる。   区面線の厚かが見木等で設計図事か仕様を満足していることが確認できる。   区面線の施工にあたって、設置範囲の水分、記、砂に人及びおこりを専門後の影響が最小限となっていることが確認できる。   区面線の権工とあたって、設置範囲の水分、記、砂に人及びおこりを専門後への影響が最小限となっていることが確認できる。   大田 佐   おり   おり   おり   おり   おりから   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大			防護柵設置要綱,視線	泉誘導標設置基準, 道路標	識ハンドブック等の規定を	満足していることが確認でき <i>。</i>	る。	された。	
防護権等の支柱の施工にあたって、既設論製画へ影響がないより施工していることが確認できる。   最高設置側面について地域の地部力を把題して、施工していることが確認できる。   財子ウーブルを実はに取付ける場合、設計図書い定められた所定の最力を与えているのが確認できる。   ガードケーブルを実はに取付ける場合、設計図書い定められた所定の最力を与えているのが確認できる。   ガードケーブルの端末支柱を上中に設置する場合、打設したコンのサードが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。   マイン・式く(常達式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。   区間線の原含が見木等・改計図書の仕場を表現していることが確認できる。   区間線の原含が見木等・改計図書の仕場を表現していることが確認できる。   区間線を指立の場合、表示材 優計のみの倫立となっており、路面への影響が最小後となっていることが確認できる。   区間線を指立の場合、表示材 優計のみの倫立となっており、路面への影響が最小後となっていることが確認できる。   区間線を指立の場合、表示材 優計のみの倫立となっており、路面への影響が最小後となっていることが確認できる。   区間線を指力の場合、表示材 優計のよって、路面に均等に強布していることが確認できる。   区間線を指力の場合、表計図書の仕様を満足していることが確認できる。   その他(理由:   150%以下 80%以下 80%を超える はらつきで判断不可能 90%以上 a a' b b b b a 1 60%以上50%未清 a' b b b' b' b' b' 60%以上50%未清 a' b b b' b' b' b' 60%以上50%未清 b' c c c c c で 注 談覧結果の打る数等が少なくほうできの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。   10 当我19年前対象項目 poうも、手筒対象外の項目は削除する。   2 計能解質目のある場合は、削除後の評価項目数を保険として計算した比率(%)の値で評価する。   3 計価値( **の) - 該当項目数( **) - 評価対象項目数( **) - 評価値( **) - 評価が表した比率(%) の値で評価する。			防護柵等の床堀りの仕	上上がり面において,地山の	O乱れや不陸が生じないよう	に施工していることが確認で	できる。		
基礎設置箇所について總盤の地能力を担配していることが確認できる。			防護柵等の基礎工の抗	施工にあたって, 無筋及び	鉄筋コンクリートの規定を満	j足していることが確認できる	) <sub>o</sub>		
防護権の支柱の恨入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。			防護柵等の支柱の施工	工にあたって, 既設舗装面	へ影響がないよう施工してい				
ガードケーブルの端末文柱を取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。   ガードケーブルの端末文柱を土中に設置する場合、打設したコングリートが設計図書に定められた現度以上であることが確認できる。					, <u>.                                  </u>				
ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。									
できる。							-		
ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。   区画線を回答の見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   区画線の施工にあたって、設置路面の水分、売、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。   区画線の施工にあたって、設置路面の水分、売、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。   区画線の経済法の場合、表示材(強料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。   区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   その他(理由:				支柱を土中に設置する場	合,打設したコンクリートが記	设計図書に定められた強度 <b>」</b>	以上であることが確認		
区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   区画線を消まの場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。   区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。   ブライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。   区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   その他(理由:									
区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   区画線を施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほごりを取り除いて行っていることが確認できる。   区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみのまとなっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。   ブライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。   区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   その他(理由:						ることが確認できる。			
区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いで行っていることが確認できる。   区画線を消去の場合、表示材 (強料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。   ブライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。   区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。   その他(理由:			<b>—</b>						
区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。   ブライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。   区画線の材料が、設計図書の仕様を演足していることが確認できる。   その他(理由:   ぱらつきで判断可能							N. or		
				.,					
区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他(理由:   ばらつきで判断可能   ばらつきで判断不可能   が   が   が   が   が   が   が   が   が							が催認できる。		
●判断基準  評価値									
●判断基準    評価値				「凶者の仕体を両足してい	ることが惟祕 じさる。	٦			
評価値     ばらつきで判断可能       50%以下     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(     )									
評価値     ばらつきで判断可能       50%以下     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(     )									
評価値     ばらつきで判断可能       50%以下     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(     )									
評価値     ばらつきで判断可能       50%以下     80%以下     80%を超える       90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(     )			●判断基進						
評価値       50%以下       80%を超える       は50つぎで判断不可能         90%以上       a       a'       b       b         75%以上90%未満       a'       b       b'       c       c         60%以上75%未満       b       b'       c       c       c       c       c       c       c       c       c       c       i <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>ばらつきで判断可能</th> <th></th> <th>1994 In model bland and bland</th> <th></th> <th></th>					ばらつきで判断可能		1994 In model bland and bland		
90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     c       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち, 評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は, 削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値(     %)=該当項目数(     )/評価対象項目数(			計 値	50%以下	1	80%を超える	はらつきで判断不可能		
75%以上90%未満     a'     b     b'     b'       60%以上75%未満     b     c     c       60%未満     b'     c     c       注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。       ① 当該「評価対象項目」のうち, 評価対象外の項目は削除する。       ② 削除項目のある場合は, 削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。       ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			90%KL	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			b		
60%未満       b'       c       c         注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。         ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			75%以上90%未満						
60%未満       b'       c       c         注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。         ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。         ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。         ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )					b'	С	С		
① 当該「評価対象項目」のうち,評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )				b'	С	С	С		
② 削除項目のある場合は,削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			注 試験結果の打点	数等が少なくばらつきの判	断が出来ない場合は評価:	対象項目(評価値)だけで評	延価する。		
② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)の値で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )									
③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			① 当該「評価対象」	頁目 Iのうち, 評価対象外の	)項目は削除する。				
③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )			② 削除項目のある	場合は,削除後の評価項目	数を母数として計算した比	率(%)の値で評価する。			
④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。									
			300000000000000000000000000000000000000				in		

考查項目	工	重	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	電線共同溝工事	<b></b>	品質関係の試験結果	のばらつきと評価対象項目	の履行状況(評価値)から	判断する。<判断基準参照)	>	□ 品質関係の測定方法	□ 品質関係の測定方法
出来ばえ			[関連基準, 土木工事法	施工管理基準, その他設計	図書に定められた試験]			又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
			※ ばらつきの判断は別	川紙一4参照。				あったため, 監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質		Ī	●評価対象項目					文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
			□ 指定材料の規格が、 占	品質を証明する書類で確認	できる。			された。	
			管路の通過試験を行る	っており、試験結果から全箇	所が導通していることが確	認できる。			
			プラント出荷時,現場:	到着時,舗設時等において	,アスファルト混合物の温度	度管理が記録していることが	確認できる。		
			特殊部の施工基面の	支持力が,均等となるように	かつ不陸がないように仕上	げていることが確認できる。			
			特殊部等の施工にお	いて,隣接する各ブロックに	.目違いによる段差及び蛇行	<b>う等がないよう敷設している</b>	ことが確認できる。		
			埋戻しにおいて,設計	・図書の仕様を満足している	ことが確認できる。				
			舗装の復旧等が適時	行われ,路面の沈下や不陸	がなく平坦性を確保してい	ることが確認できる。			
			管枕及び埋設シートの	)設置及び土被りが,設計図	図書の仕様を満足している?	ことが確認できる。			
			■ 管設置において, それ	でれの管の最小曲げ半径	を満足していることが確認っ	できる。			
			その他[理由:						
			●判断基準						
			評価値		ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能		
				50%以下	80%以下	80%を超える			
			90%以上	a	a'	b	b		
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		
			60%以上75%未満	b	b'	С	С		
			60%未満	b'	С	С	С		
			注 試験結果の打点	数等が少なくばらつきの判	断が出来ない場合は評価	対象項目(評価値)だけで評	価する。		
			\$						
				項目」のうち,評価対象外の					
			1 0 11111 1111	場合は,削除後の評価項目					
			1 0		// HI	)			
			(4) なお,削除後の	評価対象項目数が2項目以	、下の場合はc評価とする。				

【檢查職員】

		4 // 1/2						T IN A 184 A
考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	維持工事	●評価対象項目					□ 品質関係の測定方法	□ 品質関係の測定方法
出来ばえ	(清掃工,除草工,	■ 使用する材料の品質・	<ul><li>形状等が適切であり、かつ</li></ul>	)現場において材料確認をi	<b>適宜・的確</b> に行っていること	こが確認できる。	又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	付属物工,除雪,	□ 構造物の劣化状況を	よく把握して, 適切な対策を	を施していることが確認できる	, ) <sub>0</sub>		あったため、監督職員が	あったため,検査職員か
Ⅱ 品 質	応急処理等)	■ 監督職員の指示事項	に対して,現地状況を勘案	し,施工方法や構造につい	ての提案を行うなど積極的	りに取り組んでいることが	文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		確認できる。					された。	
		■ 緊急的な作業におい	て, 迅速かつ適切に対応し	ていることが確認できる。				
		理由:				<u> </u>		
		理由:				<u>.</u>		
		理由:				<u>.</u>		
		理由:				<u>.</u>		
		●判断基準						
			目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	a				
			目 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					
			目					
		<ul><li>※ 該当項目が3項</li></ul>	目	b,				
			「 目以下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
				· ·				
		  注 記載の4項目を必須	<b></b>	)他に適宜項目を追加して評	平価するものとする。			
			頁目は最大8項目とする。	IN THE REPORT OF	тщ / ФО / С / Ф			
		7年7年87年11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日	CHICAL / CO XHC / Co					

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	修繕工事	●評価対象項目					品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	(橋脚補強, 耐震	□ 使用する材料の品質・	・形状等が適切であり、かつ	可場において材料確認を通過	<b>適宜・的確に行っているこ</b>	とが確認できる。	又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
	補強,落橋防止等)	構造物の劣化状況を	よく把握して, 適切な対策を	を施していることが確認できる	Ó.		あったため, 監督職員が	あったため,検査職員か
Ⅱ 品 質		監督職員の指示事項	に対して,現地状況を勘案	し, 施工方法や構造につい	ての提案を行うなど積極的	内に取り組んでいることが	文書で指示を行い改善	修補指示を行った。
		確認できる。					された。	
		施工後のメンテナンス	に対する提言や修繕サイ	カル等を勘案した提案等を行	「っていることが確認できる	),		
		理由:		, _,,,,,,,				
		理由:						
		理由:						
		理由:						
		●判断基準						
			目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••a				
			目 ••••••					
		<ul><li>※ 該当項目が4項</li></ul>	·· 目 ·······	••••••b				
		<ul><li>※ 該当項目が3項</li></ul>	·· 目 ·······	b,				
			 目以下••••••					
		W 100 2 2 1 1 1 2 2	HOVI	C				
		注 記載の4項目を必須	頁の評価対象項目と1. <i>&gt; 0</i>	)他に適宜項目を追加して評	E価するものとする			
			目は最大8項目とする。		ГЩ / 201/2/2/20			
		7と7とし、日   四八3人・タ	CHICAL CONTINUES					

考查項目	工種	a	a'	b	b'	C	d	е
3 出来形及び	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法	□ 品質関係の測定方法
出来ばえ		●評価対象項目					又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
		材料,部品の品質照	合の書類(現物照合)を整理	あったため, 監督職員が	あったため、検査職員が			
Ⅱ 品 質		□ 設備の機能及び性能	が,承諾図書のとおり確保さ	文書で指示を行い改善	修補指示を行った。			
		設計図書の仕様を踏	まえた詳細設計を行い,承記		された。			
		機器の機能及び性能	に係わる成績書が整理され	,品質の確認ができる。				
		溶接管理基準の品質	管理項目について, 品質管	理書類を整理し品質の確認	忍ができる。			
		□ 塗装管理基準の品質	管理項目について, 品質管	理書類を整理し品質の確認	忍ができる。			
		□ 操作制御設備につい	て、操作スイッチや表示灯が	ド承諾図書のとおり配置され	l, 正常に作動することが確	認できる。		
		操作制御設備の安全	装置及び保護装置の機能	性能確認試験について, 診	大験書類を整理し品質の確	認ができる。		
		小配管,電気配線,西	2管が承諾図書のとおり敷設	としていることが確認できる。				
		設備の取扱説明書を	適切に作成していることが確	経認できる。				
		完成図書(取扱説明書	書)に部品等の点検及び交	奥方法について, まとめてい	ることが確認できる。			
		機器の配置が点検し	やすいことが確認できる。					
		設備の構造や機器の	配置について、交換頻度の	高い部品等の交換作業が	容易にできることが確認でき	:3。		
		二 二次コンクリートの配合	合試験及び試験練りを実施	し, 試験成績表にまとめてレ	ることが確認できる。			
		バルブ類の平時の状	態を示すラベルなどが見や	すい状態で表示していること	とが確認できる。			
		計器類に運転時の適	用範囲を見やすく表示して	いることが確認できる。				
		回転部や高温部等の	危険箇所に表示又は防護	をしていることが確認できる。				
		構造物の劣化状況を	よく把握して, 適切な対策を	施していることが確認できる	),			
		現地状況を勘案し, が	五工方法等についての提案	を行うなど積極的に取り組ん	- 」でいることが確認できる。			
		一 その他[理由:			)			
		●判断基準						
		評価値が90%以上						
		評価値が80%以上						
		評価値が70%以上	7 1 1					
		評価値が60%以上	7 1 1					
		評価値が60%表出	/ - / 1 - 11 - 4					
		計画區200/0/八個						
		① 坐該「証価景色	項目」のうち、評価対象外の	1百日 14 割除する				
			場合は、削除後の評価項目		変(0/)の値で証価する			
					平(70)の値で計画する。			
		0 87 11411111	%)一該ヨ頃日数( 評価対象項目数が2項目以	// HI   m// 1-31 //   // //	,			
		(生) なる、円外での	町川川八多字日女パンタ日夕	コマノ勿口はいけ川にりる。				

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
3 出来形及び	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ		●評価対象項目					又は測定値が不適切で	又は測定値が不適切で
		製作着手前に、品質な	や性能の確保に係る技術検	討が実施していることが確認	忍できる。		あったため、監督職員が	あったため、検査職員が
Ⅱ 品 質		材料・部品の品質照合	合の結果が品質保証書等(	していることが確認できる。	文書で指示を行い改善	修補指示を行った。		
		機器の品質,機能及び	び性能が設計図書を満足し		された。			
			「が承諾図書のとおり配置さ					
		ケーブル及び配管の	接続などの作業が, 施工計	画書に記載された手順に沿	って行われ,不具合がない	ことが確認できる。		
		設備の機能及び性能	が, 設計図書の仕様を満足	していることが確認できる。				
		= *************************************	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	上様を満足しているとともに,	必要な安全装置及び保護	装置の作動が確認できる。		
			役計図書の仕様を満足して					
		H 3- M 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		確認できない場合において	,	,		
		=		修繕(改造・更新含む)の場	A ,	いることが確認できる。		
				び箇所を明示していることが				
				業が容易にできることが確認	- ·			
				フェールセーフ機能を現地	!試験等で確認している。			
		<del></del>	いて,受注者自らが確認, **	<b>青</b> 査したことが確認できる。				
		□ その他〔理由:						
		●本川林芒井、沖井						
		●判断基準 評価値が90%以上						
		評価値が90%以上	<del>-</del>					
			7 1 11 4					
		評価値が70%以上 評価値が60%以上	,					
		評価値が60%以上 評価値が60%未満						
		計画追がひり多不個	С					
		① 当款「証無計色	項目」のうち、評価対象外の	1百日/ナ削除ナス				
				ソリロは削除する。 1数を母数として計算した比。	索(%)の値で証価する			
					平(70)の個(計画する。 )			
			707該ヨ頃日数( 評価対象項目数が2項目以	// HI IIm/ 3-3- > 1   > 9-1	/			
		(生) /よれ, 円川木1次(V)	〒     / 1    ※ 字日	コマン物ロではいず川にりる。				

考查項目	工  種	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	通信設備工事•	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	□ 品質関係の測定方法	品質関係の測定方法
出来ばえ	受変電設備工事	●評価対象項目					又は測定値が不適切で	
		電気		あったため, 監督職員が	あったため、検査職員か			
Ⅱ 品 質		設計図書に定められで	ている品質管理を実施してい	文書で指示を行い改善	修補指示を行った。			
		■ 材料び構成部品の品	質及び形状について, 設計	図書等と適合が確認できる	証明書等を整備しているこ	とが確認できる。	された。	
				照合を含む)で確認でき, 設				
			111-20 1 - 11-11 / /// 12 1 1 1	確認でき,設計図書の仕様を	_ 11			
				画書に記載された手順に沿	って行われ,不具合がない	ことが確認できる。		
		=	会性能が所定の能力を満足					
				、操作方法が容易に判別できる。				
				造者が判別できる資料を整		5.		
		<b>=</b>		こした品質及び性能を工場記	式験記録により確認できる。			
		=	取扱説明書を適切に作成し		)			
				び箇所を明示していること				
				業が容易にできることが確認				
				フェールセーフ機能を現地	型試験等で確認している。			
			いて,受注者自らが確認,	<b>青雀したことか傩認できる。</b>	٦			
		② 削除項目のある ③ 評価値(	90%未満・・・・。。 80%未満・・・・b 70%未満・・・・b' ・・・・・・・・c 項目」のうち、評価対象外の 場合は、削除後の評価項目	数を母数として計算した比 )/評価対象項目数(	率(%)の値で評価する。 )			

【給杏職昌】

			1. WANDATALAN		エンコンさんごう				
考查項目	工種	$\langle A \rangle$	a	a'	b	b'	С	d	е
3 出来形及び	上記以外の工事	\A/	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方	品質関係の測定方
出来ばえ	浚渫工事							法又は測定値が不適	法又は測定値が不適
								切であったため, 監督	切であったため、検査
Ⅱ 品 質								職員が文書で指示を	職員が修補指示を行
		●評	価対象項目					行い改善された。	った。
				工方法や構造についての	提案を行うなど積極的に取	なり組んでいることが確認で	きる。	71 71 - 1 1 - 1	
		理理	由:緊急的な作業において	て, 迅速かつ適切に対応し	ていることが確認できる。		<del></del>		
				がないように施工しているこ					
				工していることが確認できる					
		理理			<u> </u>				
		理理					<del></del>		
		理							
		<u> </u>	<del></del>						
		●判	断基準						
			71221						
			※ 該当項目が000%	以上 •••••	• o		Ţ I		
				以上90%未満・・・・・・・・					
				以上80%未満・・・・・・・					
				以上70%未満・・・・・・・・					
				以上70%木価・・・・・・ 未満 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			<u> </u>		
							<u> </u>		
			なお,削除後の評価を	対象項目数が2項目以下の の	)場合はc評価とする。		<u>.</u>		
	1								1

【檢查職員】

			. , ,	· 1 T V H · 1 T	_ / 11 1/4 1/ / 11 1/ 1				【八五·咏兵】
考查項目	+	$\langle A \rangle$	a	a'	b	b'	С	d	e
3 出来形及び	上記以外の工事	\11/	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方	品質関係の測定方
出来ばえ	(情報ボックス等)		<ul><li>品質関係の試験結果</li></ul>	₹のばらつきと評価対象項	頁目の履行状況(評価値)カ	いら判断する。 <判断基準	参照>	法又は測定値が不適	法又は測定値が不適
	又は合併工事	$\langle B \rangle$	[関連基準, 土木工事	施工管理基準, その他設	計図書に定められた試験	]		切であったため、監督	切であったため,検査
Ⅱ 品 質			※ ばらつきの判断は	別紙一4参照。				職員が文書で指示を	職員が修補指示を行
		●評	価対象項目					行い改善された。	った。
		理理	<b>±</b> :						•
		理理	<b>±</b> :						
		理理	<b>±</b> :						
		理理	<b>b</b> :				<del></del>		
		理理	•				<del></del>		
		理理	•				<del></del>		
		理理							
		●割	断基準						
			<ul><li>(A) 対象工事がばらつき</li></ul>	<i>い</i> トス証価が不適切かT	す				
			(五/ 対象工事がはりつ	こうなられ 買いさい 回 かいかつ	<b>-</b> ₹				
			ex)取壊し工等						
				 以上 ······			ŗ <b> </b>		
				以上90%未満・・・・・・・			<u> </u>		
				以上80%未凋・・・・・・ 以上80%未満・・・・・・・			<b>!</b>		
							<b>!</b>		
				以上70%未満・・・・・・・			<u> </u>		
				<b>卡満 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</b>			<u> </u>		
			なお,削除後の評価素	象項目数が2項目以下の	り場合はc評価とする。		<u>.i</u>		
		l —	/ > // 4 - / / / / / / / / / / / / / / / /						
			〈B〉 対象工事がばらつき	による評価が適切な工事	-				
							,		
			評 価 値		ばらつきで判断可能	T	<b>   </b>		
				50%以下	80%以下	80%を超える	<b>   </b>		
			90%以上	a	a'	b	1 1		
			75%以上90%未満	a'	b	b'	1 1		
			60%以上75%未満	b	b'	С	<u> </u>		
			60%未満	b'	С	С	<b>」                                    </b>		
			<u></u>				<u>.</u>		
			① 削除項目のある場	合は,削除後の評価項目	数を母数として計算した比	と率(%)の値で評価する。			
			② 評価値( %	)=該当項目数(	)/評価対象項目数(	)			
			③ 評価対象項目数か	『2項目以下の場合はc評	価とする。				

考査項目	工種	a	b	С	d
7 且 7 日	上  1至	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び	コンクリート構造物	●評価対象項目		●判断基準	
出来ばえ	工事	コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当5項目以上・・・・・・・a	
	砂防構造物工事	コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目・・・・・・・b	
Ⅲ 出来ばえ	トンネル工事	天端仕上げ,端部仕上げ等が良い。		該当3項目・・・・・・・・c	
		<u></u> クラックがない。		該当2項目以下・・・・・・・d	
		└── 漏水がない。			
		■ 全体的な美観が良い。			
	土工事	●評価対象項目		●判断基準	
	(盛土・築堤工事等)			該当4項目以上・・・・・・a	
		通りが良い。		該当3項目・・・・・・・b	
		天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・・・・・c	
		横造物へのすりつけなどが良い。		該当1項目以下・・・・・・・d	
		全体的な美観が良い。			
	切土工事	●評価対象項目		●判断基準	
	37.T.¥	規定された勾配が確保されている。		該当5項目以上・・・・・・a	
		切土法面の施工にあたって、法面の浮きる	5が除去されているかど 適切に施工され	該当4項目••••••b	
		ている。	an machine and parental action	該当3項目・・・・・・・・・c	
		法面勾配の変化部について,干渉部を設	けるかど適切に施丁されている	該当2項目以下・・・・・・d	
		滞水などによる施工面の損傷が発生しない		M 12 X I M I	
		関係構造物等との取り合いが設計図書を			
		全体的な美観が良い。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	護岸•根固•水制	●評価対象項目		●判断基準	
	工事	■ 通りが良い。		該当4項目以上・・・・・・a	
				該当3項目・・・・・・・b	
		天端及び端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・・・・・c	
		既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目以下・・・・・・・d	
	鋼橋工事	●評価対象項目		●判断基準	
	<b>邺而上于</b>	表面に補修箇所がない。		該当4項目以上・・・・・・a	
		部材表面に傷及び錆がない。			
		溶接に均一性がある。		該当3項目・・・・・・・b 該当2項目・・・・・・・c	
		□ 塗装に均一性がある。		該当1項目以下・・・・・・・d	
		全体的な美観が良い。		M T X H M I	
		上 上厅7.6天晚// 尺 ( )			
	•				

考 査 項 目  工  種		a	b	c						
	上	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
3 出来形及び	地すべり防止工事	●評価対象項目		●判断基準						
出来ばえ		■ 地山との取り合いが良い。		該当3項目以上・・・・・・・a						
		天端,端部の仕上げが良い。		該当2項目・・・・・・・b						
Ⅲ 出来ばえ		施工管理記録などから不可視部分の出来	ばえの良さが伺える。	該当1項目・・・・・・・・c						
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・・・d						
	舗装工事	●評価対象項目		●判断基準						
		■ 舗装の平坦性が良い。		該当5項目以上・・・・・・・a						
		構造物の通りが良い。		該当4項目•••••b						
		端部処理が良い。		該当3項目・・・・・・・c						
		■ 構造物へのすりつけ等が良い。		該当2項目以下・・・・・・・d						
		■ 雨水処理が良い。								
		□ 全体的な美観が良い。								
	N	a first how I I for our to		Adulting this We						
	法面工事	●評価対象項目		●判断基準						
		■ 通りが良い。		該当3項目以上・・・・・・a						
		■ 植生,吹付等の状態が均一である。		該当2項目······b						
		端部処理が良い。		該当1項目・・・・・・・・・・c						
		全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・・・・・・d						
	基礎工事(地盤	<ul><li>■評価対象項目</li></ul>		●判断基準						
	改良等を含む)	土工関係の仕上げが良い。		該当3項目以上・・・・・・・a						
	以以中で自己/	<ul><li>■ エエ関係のは上げが及べ。</li><li>■ 通りが良い。</li></ul>		該当2項目・・・・・・b						
		端部及び天端の仕上げが良い。		該当1項目・・・・・・・・・c						
		施工管理記録などから不可視部分の出来	げラの 良さが伺うろ	該当項目なし・・・・・・・・・d						
		※地盤改良はc評価とする。	はんジ及びが同たる。	成 当 項 日 な じ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
		<b>小児血の及びの間に</b> アる。								
	コンクリート橋	●評価対象項目		●判断基準						
	上部工事	コンクリート構造物の表面状態が良い。		該当5項目以上・・・・・・a						
		コンクリート構造物の通りが良い。		該当4項目・・・・・・b						
		天端及び端部の仕上げが良い。		該当3項目・・・・・・c						
		支承部の仕上げが良い。		該当2項目以下・・・・・・・d						
		クラックがない。								
		全体的な美観が良い。								
	•	•								

(株)	老 杏 項 日	6 査 項 目		b						
出来过え		工工工	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
国語まできり締めな権工が合わている。	3 出来形及び	塗装工事	●評価対象項目							
田来行文	出来ばえ	(工場塗装を除く)	■ 塗装の均一性が良い。							
かしつの第工程にが見好である。   該当1項目以下   d					該当3項目•••••b					
全体的な実験が良い。	Ⅲ 出来ばえ				該当2項目•••••c					
通報工事					該当1項目以下・・・・・・・d					
横木の活着状況が良い。			全体的な美観が良い。							
一次										
一次			A STATE OF THE STA		A Vol Nor ++ N/4					
支柱の取り付けが認用である。   該当項目		植栽上事								
支柱の取り付けが堅固である。   該当項目・										
植栽帯の全体的な美観が良い。   該当項目なし・・・・				いる。						
通的が良い。			惟萩帝の至体的な美観か良い。		該当項目なし・・・・・・・d					
通的が良い。										
通的が良い。										
□ 通的が良い。		防護柵(網)工事	●評価対象項目		●判断基準					
端部処理が良い。			- I							
一										
さめ細やかに施工されている。			部材表面に傷及び錆がない。		該当3項目•••••c					
全体的な美観が良い。			既設構造物等とのすりつけが良い。		該当2項目以下・・・・・・d					
標識工事			□ きめ細やかに施工されている。							
設置位置に配慮がある。			◯ 全体的な美観が良い。							
設置位置に配慮がある。										
標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。		標識工事								
□ 標識板の支柱に変色がない。										
支柱基礎が入念に埋め戻されている。       該当1項目以下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				通りが良い。						
全体的な取扱いがしやすい。       ●判断基準         区画線工事       ●判断基準         塗料の塗布が均一である。       該当4項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
区画線工事       ●評価対象項目       ●判断基準         塗料の塗布が均一である。       該当4項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					該当1項目以下・・・・・・・d					
			全体的な取扱いがしやすい。							
塗料の塗布が均一である。       該当4項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		区画線丁事	●評価対象項目		●判断基準					
視認性が良い。		7								
接着状態が良い。       該当2項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
施工前の清掃が入念に実施されている。 該当1項目以下・・・・・・・・・・・d										

考査項目	エ	種	a	b	С	d
·/ H × F		125	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び	機械設備工	事	●評価対象項目		●判断基準	
出来ばえ			<ul><li>主設備,関連設備及び操作制御設備が全</li></ul>	全体的に統制されており,運転操作性が良い。	該当4項目以上・・・・・・・a	
			きめ細かな施工がなされている。		該当3項目・・・・・・・b	
Ⅲ 出来ばえ			□ 土木構造物, 既設設備等とのすりつけが♪	しい。	該当2項目•••••c	
			□ 溶接, 塗装, 組立等にあたって, 細部に渡	る配慮がなされている。	該当1項目以下・・・・・・・・d	
			全体的な美観が良い。			
	電気設備工	事	●評価対象項目		●判断基準	
			◯ きめ細やかな施工がなされている。		該当5項目以上・・・・・・・a	
			公共物として,安全性の確保,環境及び組	<b>挂持管理等への配慮がなされている。</b>	該当4項目・・・・・・b	
			■ 動作状態において,電気的及び機械的な	異常がなく,総合的な機能及び運用性が良い。	該当3項目・・・・・・・c	
			□ ケーブル等の接続方法及び収納状況が通	<b>適切である。</b>	該当2項目以下・・・・・・・d	
			□ 操作,保守点検等の容易さを確保するため	<b>かの配慮がなされている。</b>		
			◯ 全体的な美観が良い。			
	維持修繕工	事	 ●評価対象項目		●判断基準	
			□ 小構造物等にも注意が払われている。		該当3項目以上・・・・・・・a	
			きめ細かな施工がなされている。		該当2項目······b	
			既設構造物とのすりつけが良い。		該当1項目・・・・・・・c	
			全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・・・・・・・d	
	電線共同溝	工事	●評価対象項目		●判断基準	
			□ 歩道及び車道の舗装(含, 仮復旧舗装)の	の勾配が適切で,有害な段差がなく平坦性が	該当3項目以上・・・・・・・a	
			確保されている。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	該当2項目・・・・・・b	
			プレキャストコンクリートブロックの蓋に, が	たつきや不要な隙間が生じていない。	該当1項目・・・・・・・c	
			施工管理記録などから,不可視部分の出	来ばえの良さが伺える。	該当項目なし・・・・・・・・・・d	
			全体的な美観が良い。		W	
	通信設備工	事	●評価対象項目		●判断基準	
	受変電設備	•	主設備、関連設備等にきめ細かな施工が		該当5項目以上・・・・・・a	
	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~		公共物として、安全性の確保、環境及び維	=, · -v	該当4項目・・・・・・・b	
				異常がなく、総合的な機能や運用性が良い。	該当3項目・・・・・・・・c	
				及び統制され、総合的な性能向上への配慮が	該当2項目以下・・・・・・・・・・・d	
			なされている。	× 0 100000 0 1000 100000000000000000000	M-1-VHO/1	
			操作、保守点検等の容易さを確保するため	カの配 膚 がたされていろ		
			全体的な美観が良い。	ンマンログログ ・そのまたく ・20		
			L」 土 m μ y は 大概 μ * 区 v * 。			
	ı					

【檢查職員】

					【快旦帆只】
考查項目	工  種	а	b	с	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び	上記以外の工事	●評価対象項目		●判断基準	
出来ばえ	浚渫工事	理由: 小構造物等にも注意が払われてい	る。		
				該当3項目・・・・・・b	
Ⅲ 出来ばえ		理由: 既設構造物とのすりつけが良い。		該当2項目·······c	
		理由: 仕上げが良い。		該当1項目以下······d	
		理由: 全体的な美観が良い。		<u>.</u>	
		※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行	fう。ただし,評価対象項目は最大5項目	まとする。	
	上記以外の工事	●評価対象項目		●判断基準	
	又は合併工事	理由:		該当4項目以上······a	
		理由:		該当3項目・・・・・・・b	
		理由:		該当2項目·······c	
		理由:		該当1項目以下・・・・・・・d	
		理由:			
				<del></del>	
		※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行	f5. ただ1. 評価対象項目は最大5項目	しする。	
				, _ ,	

## 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表の記入方法及び留意事項



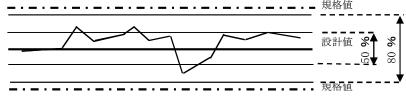
出来形及び品質のばらつきの考え方

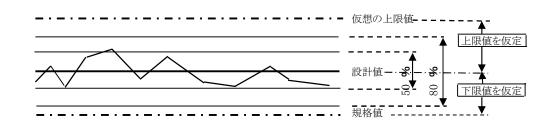
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

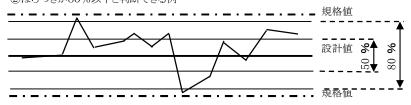
(下限値のみの場合)







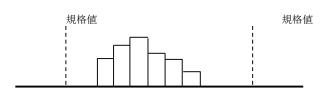
#### ②ばらつきが80%以下と判断できる例

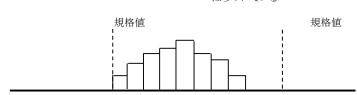


[度数表又は、ヒストグラムの場合]

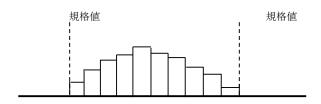
ばらつきが小さい

ばらついている





#### ばらつきが大きい



#### 「施工プロセス」のチェックリスト

1	工事	名							I.	Ē
2	工	期	令和	年	月	日~令和	年	月		I
3	施丁業	老								

事	業	課					
主任	£監晳	子員		 			
担当	当監督	子員					

- ①「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督職員等が確認する。 ②チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば□に**レ**マークを記入し、OKでなければ、備考欄に改善通知、改善指示及びその是正状況等を記入する。 ③用語の定義については、契約後:当初契約後、変更後:工期内に行う契約変更後とする。

考査	細	7# 30 75 D		(1 hold)	チェック時期(指示事項)								備考	
項目	別	確認項目	チェックリスト一覧表	(チェックの目安)	着手前		施	I	中				完成時	(改善通知,改善指示及びその是正状況等)
		〇契約工程表	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(契約後,変更後)	( / )	( / )	( / )	( _	) ( /	) (	)	( / )		
		〇工事カルテ	・事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の 10日以内に登録機関に申請した。	(契約後,変更後, 完成時)	( / )	( / )	( / )	( _	) ( _	) (	)	( / )		
		〇品質証明	・品質証明員の資格(身分及び経歴)が適正である。 また、品質証明員に関する資料を書面で提出した。	(契約後,変更後)	( / )	( / )	( / )	( _	) ( /	) (	)	( / )		
			・工事途中及び検査時の事前に品質確認を行い, そ の結果を所定の様式により提出した。	(検査の前等)		( / )	( /	( _	) ( _/	) (	)	( / )	( / )	
1	I		・品質証明は、出来高、品質及び写真管理等、工事 全般にわたり適切(数量も含む)に実施した。	(品質証明実施時)		( / )	( / )	( _	) ( /	) (	<u> </u>	( / )	( / )	
施	施	〇建設業退職金 共済制度等	・掛金収納書の写しを契約締結後1ケ月以内に提出 した。	(契約後, 増額変更後)	( / )	( / )	( / )	( _	) ( /	) (	<u> </u>	( / )		
	I		<ul><li>「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の 標識が現場に掲示している。</li></ul>	(施工時1回程度)		( / )	( / )	( /	) ( /	) (	<u> </u>	( / )		
エ			<ul> <li>労災保険関係の項目が現場の見やすい場所に掲示 している。</li> </ul>	(施工時1回程度)		( / )	( / )	( /	) ( /	) (	<u>/</u>	( / )		
	体		・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等に より適切に管理している。	(施工時適宜)		( / )		( /	) ( /	) (	<u></u>	( / )		
体	制	〇請 負 代 金内 訳 書	・契約締結後14日以内に所定の様式で提出した。	(契約後,変更後)	( / )	( / )	( / )	( /	) ( /	) (	<u></u>	( / )		
			・施工体制台帳を現場に備え付け,かつ,同一の ものを提出した。	(施工時の当初, 変更時)		( / )		( /	) ( /	) (	<u> </u>	( / )		
制	-		・施工体制台帳に下請負契約書(写)及び再下請負 通知書を添付している。	(施工時の当初, 変更時)				( /	) ( /	) (	<u></u>	( / )		
			・施工体制台帳及び添付書類の「健康保険等加入状況」	(施工時の当初 台帳提出の都度)		( / )	( / )	( /	) ( /	) (	<u>_</u> )	( / )		
			・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やす い場所に掲げている。	(施工時の当初, 変更時)		( / )	( / )	( /	) ( /	) (	<u></u>	( / )	( / )	
			・必要事項を記載した作業員名簿を作成・提出している	(施工時の当初, 変更時)				( /	) ( /	) (	<u></u>	( / )		
			・施工体系図に記載のない業者が作業していない。	(施工時 1回/月程度)		( / )		( /	) ( /	) (	<u></u>	( / )		
			・施工体系図に記載されている主任技術者及び施工 計画書に記載されている技術者が本人である。	(施工時の当初, 変更時)				( /	) ( /	) (		( / )		
			・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。	(施工時の当初, 変更時)				( /	) ( /	) (		( / )		
		〇 建 設 業 許 可 標 識	・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見や すい場所に設置し、監理技術者を正しく記載して いる。	(施工時1回程度)				( _	) ( _					

## 「施工プロセス」のチェックリスト

別紙一	5 [2]	「旭工ノロビハ」 ジアエップラスト											
考項 査目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表	(チェックの目安)	着手前		チェッ 施	ク 時 エ	<u>期 (指 示</u> 中	事 項)		完成時	備 考 (改善通知,改善指示及びその是正状況等)
	II	○現場代理人	・現場代理人は、現場に常駐している。	(施工時 1回/月程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
1	配		・現場代理人は、監督職員との連絡調整及び対応を 書面で行っている。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
施	置技	<ul><li>○専門技術者の配置</li></ul>	・専門技術者を専任し、配置している。	(施工計画時, 施工時適宜)	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
	術 者	<ul><li>○ 作業主任者</li><li>の選任</li></ul>	・作業主任者を選任し、配置している。	(施工計画時, 施工時適宜)	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
工	/ 現	<ul><li>監理技術者</li><li>(主任技術者)</li></ul>	・資格者証の内容を確認した。	(着手前)	( / )								
体	場代理	の専任制	・配置予定技術者,通知による監理技術者,施工体 制 台帳に記載された監理技術者と監理技術者証に記載さ れた技術者及び本人が同一であった。(監理技術者補 佐を配置する場合は,監理技術者補佐についても同様 の確認をする)	(着手前)									
	人		・監理技術者(監理技術者補佐を配置する場合は,監理技術者補佐についても同様の確認をする)が現場に	(施工時		( / )	( / )	( / )	()	( / )	( / )	( / )	
	•		常駐していた。不在の場合は適切な施工ができる体制 を確保していた。	1回/月程度)									
制	監 理		・施工計画や工事に係る工程,技術的事項を把握し, 主体的に係わっていた。	(施工時 打合せ時)		( / )	( / )	( /	( / )	(	( / )		
	技主 術任		・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を 進めている。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( /	( / )		
	者 技 • 術			(施工時適宜)		( / )	( / )	( /	( / )		( / )		
	者	○ 下請負者の 把握	・下請負者が京都市の工事指名競争参加資格者である場合には,指名停止期間中でない。	(施工時適宜)		( 🖒 )		( /	( / )	(	( / )		
		<ul><li>○設計図書の 照査等</li></ul>	・契約書第20条第1項第1号から第4号に係わる設 計図書の照査を行っている。	(着手前, 施工時適宜)	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( /	( / )		
			・現場との相違事実がある場合,その事実が確認で きる資料を書面により提出して確認を受けた。	(着手前, 施工時適宜)	( / )	( / )	( /		( / )		( / )		
		○施工計画書	・施工(変更を含む)に先立ち、提出した。	(着手前,変更時)	( / )	( / )	( /		( / )		( / )		
2	I		・記載内容と現場施工方法と一致している。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
施	施		・記載内容と現場施工体制が一致 している。	(施工時適宜)		( \(  \)	( /	( / )	( / )	( / )	( / )		
工	エ		・記載内容が,設計図書・現場条件等を反映してい る。	(着手前,変更時)	( / )	( / )	( / )		( / )		( / )		
		<ul><li>施工管理・ 工事材料管理・</li></ul>	・京都市建設局電子納品実施要領(案)に基づく協 議時期が適切である。	(着手時, 検査前)	( / )							( / )	
状	管	出来形, 品質管理	・工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理して いる。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )				
況	理		・品質管理確保のための対策など施工に関する工夫 を書面で確認できる。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( /	( / )	( /	( / )		
			・日常の出来形,品質管理が書面にて確認できる。	(施工時適宜)		( 🖒 )	( / )	( /	( / )		( / )		
		現場環境改善等	・特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組み 又、地域等より評価されるものがある。	(施工時適宜)		( / )	( /		( / )		( / )		
		<ul><li>○ 検査(確認を 含む)及び立</li></ul>	・監督員の立会いにあたって, あらかじめ立会願 いを提出している。	(施工時適宜)			( / )	( / )	( / )	( /	( / )		
		会い等の調整	・段階確認の確認時期が、適切である。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	()	( 🖒 )	( / )		
		○工事の着手	・工事着手を確認した(特記仕様書に工事に着手すべき期日について定めがある場合は、その期日までに工事着手したことを確認した)。	(着手時)	( / )								

#### 「施工プロセス」のチェックリスト

別紙ー	-5 [3]												
考項 查目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表	(チェックの目安)	着手前		チェッ	ク 時 戸施 二	期 (指 示 「. 中	事 項)		完成時	備 考 (改善通知,改善指示及びその是正状況等)
重日	J) J	○ 支給品及び 貸与品	・受領予定14日前までに、品名、数量、品質、規格 又は性能を記した要求書を提出した。	(施工時適宜)	有于削	( / )	( / )			( / )	( / )	元队时	(以普通知,以普指小及いての定正仏代寺)
	施	○建設副産物及 び建設廃棄物	・請負者は、産業廃棄物管理票(マニュフェスト)	(施工時適宜)						( / )			
	工管		・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 を所定の様式に基づき作成し,施工計画書に含め 提出した。	(施工時適宜)	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
	理		<ul> <li>請負者が、廃棄物処理法規則に基づき、産業廃棄物収集運搬車の車体両側面に事業者名等を表示するとともに、所定の事項を記載した書面を備え付けている。</li> </ul>	(施工時適宜)			()	( / )	( / )	( / )	( / )		
		類の確認	・指定建設機械(排ガス対策型・低騒音型・低振動 型建設機械)を使用している。	(施工時1回程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
	II 工	〇工程管理	いる。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
	程管		・現状条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出した。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( 🖒 )	( / )	( / )	(		
	理		<ul><li>・現場の休日の確保を行った記録が整理されている。</li></ul>	(施工時適宜)		( ( )	( ( )	( ( )	( 🖒 )	( 🖒 )	()		
		〇安全活動	・災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。	(施工時適宜)		( / )	( / )			( / )	( / )		
2			・店社パトロールを実施し、記録がある。	(施工時 1回/月程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
施	Ш		・安全・訓練等を実施し、記録がある。	(施工時適宜)			( ( )	( ( )	( ( )	( ( )	( 🖒 )		
	安		・安全巡視, TBM, KY等を実施し, 記録がある。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
工	全		・新規入場者教育を実施し、記録がある。	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
状	l		・過積載防止に取り組んでいる記録がある。	(施工時適宜)		( / )	( / )			( / )	( / )		
SH1	対		・使用機械、車輌等の点検整備等が管理され、記録がある。	(施工時 1回/月程度)		(	(	( / )	(	( / )	()		
況	策		・重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲 の分離措置がなされた点検記録等がある。	(施工時適宜)		(	( _ )	( / )		( / )	( / )		
			・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の記録がある。	(施工時適宜)		( / )	(	( / )	(	(	( / )		
			・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理 がチェックリスト等により実施され、記録がある。	(施工時適宜)		( / )	( )	( / )	()	(	( / )		
			・保安施設等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。 ・低入札価格調査対象工事の安全パトロールを総括監	(施工時適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		○安全パトロー	・低入れ価格調査対象工事の安全ハトロールを総括監督員が行っている。 ・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項につ	(旭丄时週旦)		( / )		( / )	( _ )	(	( / )		
		ルの指摘事項 の処理	いて,速やかに改善を図り,かつ関係者に是正報 告した記録がある。	(施工時適宜)					( _ (	(	( / )		
	IV 対	○関係機関等	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。	(施工時適宜)	( / )	( / )	( / )		( / )	( / )	( / )		
	外関		・地元住民等との施工上必要な交渉,工事の施工に 関しての苦情対応を適切に行い,記録がある。	(施工時適宜)	( / )		( / )		( / )	( / )	( / )		
	係		・隣接工事又は施工上密接に関連する工事の請負業 者と相互に協力を行っている記録がある。	(施工時適宜)	( / )		( / )		( / )	( / )	( / )		
	V総合評価	○ 提案事項の 履行確認		(施工時適宜)			( / )	( / )	( 🖒 )	()	( 🖒 )		